大連図書館及び同館所蔵の地誌について

——「大谷文庫」本地誌を中心に——

木　田　知　生　編

はじめに
一　大連図書館及び所蔵本の現況
　㈠　大連図書館とその蔵書
　㈡　大連図書館所蔵善本（「大連図書館出品善本解題」）
二　大連図書館所蔵「大谷文庫」地誌について
おわりに

はじめに

大連図書館[1]所蔵本の特色と「大谷文庫」については，すでに説明と紹介を幾度か試みた。大連図書館所蔵本の中でもとくに貴重な「明清小説」に関しても，その影印刊行の歩みを中心に紹介し，同館所蔵の「明清小説」の多くが，「大谷文庫」から出ていることを示した[2]。これら「明清小説」とは別に，「大谷文庫」には中国の地誌地方志を中心とする地理関係書籍がかなり多く含まれ，大きな特色をなしていることが知られる。

本稿では，内容を二つに分けて記述を進めたいと思う。まず始めに大連図書館の沿革とその現況及び蔵書の特色について最新のデータを紹介報告し，次に，とくに「大谷文庫」本を中心に大連図書館所蔵の中国地誌と地方志に焦点を絞って収蔵状況を簡潔に紹介する[3]。

一　大連図書館及び所蔵本の現況

2006年５月に龍谷大学大宮図書館改修記念の各種学術行事が大宮学舎・大宮図書館を中心に催された。その際，2000年11月に締結された龍谷大学学術情報センターと大連図書館との友好学術協定に基づき，大連図書館の張本義館長と副館長の辛欣女史が来学し，張館長が「大連図書館とその蔵書」の演題で大連図書館の沿革と現況を語り，本稿筆者が通訳の任に当たった。また同時に開催された「所蔵稀書と図書館歴史資料」特別展示会には，辛欣副館長の監督指導の下，大連図書館の善本書籍五点が出展され，それら貴重書に対しては展観図録『所蔵稀書と図書館歴史資料』誌上に書籍解題が掲載された[4]。

これらの講演内容や展観書籍には，従来あまり熟知されていなかった事項や新データがかな

り盛り込まれ，一般には利用することが困難であった貴重書の真面目が明らかにされた。その意味で，得難い機会であったと思う。本稿では，まず張館長の講演内容を骨子とした報告文「大連図書館とその蔵書」を掲げ，併せて展観に際しての「書籍解題」を附すこととし，これを以て同館の現況理解の一助としたい。なお，記念事業に際して，訳文の作製と編集は筆者が担当した。今回，同講演内容の掲載について改めて張館長の許諾を頂戴した後，さらに講演時の文章表現をやや改編することをもお認めいただいた。これに基づき，筆者が若干の改編と補足説明・注を加え，報告文としての体裁を整えたことを附記する。

㈠ 大連図書館とその蔵書（張本義大連図書館館長の講演内容に基づく報告文）

大連図書館の前身は，日本が中国東北地域を占領していた時期の1907年に創建された満鉄大連図書館（正式名：南満州鉄道株式会社大連図書館）である。1945年に旧ソ連の赤軍によって接収された後，中ソ合同経営に係る中長鉄路局によって管理され，名を中長鉄路大連中央図書館と改めた。1950年には旅大市地方政府の管理下に置かれ，旅大市図書館を立ち上げ，1981年には旅大市の名称が大連市に改ったことにより「大連図書館」と改称され，現在に至っている[5]。

大連図書館の新館は，大連市内の白雲山の北麓に位置し，1986年に建造された（対外開放は1990年）。1999年には大連市政府の醵出金を基に図書館の改築と拡張を行い，建築総面積は4万平方メートルほどになった。大連市の中心地・魯迅路にある旧満鉄大連図書館に対しても修復と改装を施し，同館を大連図書館の魯迅路分館とした（日本語文献を10万余冊収蔵する）。

新たに拡張改装工事を終えた大連図書館本館の外観は，荘重なデザインでまとめられ，内部の装飾もできる限り快適で落ち着いた閲覧環境を読者に提供するように工夫された。館内は，ふたつの室内天井を中心に東西ふたつの区域に分かれており，西側は主に読者が使用する公共閲覧コーナー，東側には読者に対する貸し出しサービス部門や美術館・多目的ホールを集中させた。西側の閲覧コーナーは四層，各層の面積は約1500平方メートルで，いずれも大広間形式を採用し，貸し出し・閲覧・図書収蔵が一体化した新しい構造となっている。

館内には最新型のコンピュータシステムを配置し，ネットワークも総合的な配線集中システムを採用し，幹線ＬＡＮもＧＩＧＡ光ファイバーで，100Mで各テーブルと繋がり，10Mのブロードバンドでインターネットが利用できる。またＳＵＮ小型機二台・応用サーバー10台・小型ＰＣ約300台を配置し，業務ソフトは自動化集成システムを採用し，データ収集・目録編集・流通・聯合書目検索・出版物管理・参考問合せといった六種のシステムを組み込んでいる。この他，事務自動化のソフトを自主開発している。

近年，大連図書館では館蔵文献のデジタル化開発を重視しており，すでに『大連図書館蔵満鉄資料データベース』及び『大連旧影』『大連新貌』『遠東（極東）文庫』『猶太（ユダヤ）書影』『地方出版物』『大連作家文庫』等の30余種の特色あるデジタルデータの作成に着手

し，そのデータ総量は現時点で182ＧＢに達した。

大連図書館のホームページは1997年に正式に立ち上げられた。その後，４回の改訂を行い，バージョンアップを日々実施している。その間，ＷＥＢ検索エンジン・デジタルデータ検索・ニュース速達便・大連イエローページ等の内容を逐次増補した。この他，高速キャッシュバック技術・多種言語混合検索機能等によって，自動マーキングや，図からプレーンテキストを認識すること，加えてブックマーク定義連結・ディレクトリー表示や，電子ブック上でのマーキング，対象データのカプセル化等の問題を解決し，ネット読者の要求をかなり満足させることができた。

大連図書館は省に次ぐ地方行政センターとして中国国内の「全国情報資源共用プロジェクト」に加わり，すでに大連市の三つの基層センター建設を完成させている。現在，超大型で先進的な内容の大連デジタル図書館プロジェクトの計画が進捗中であり，初期的な論証をすでに経ており，近々，本格的に始動の予定である。

現在，大連図書館は蔵書総数276万冊に上る豊富な図書資源を擁しており，その中でも古籍の所蔵は系統的で，独自な特色を備えている。現蔵の古籍総数は55万冊あまりで，その来源は，旧満鉄大連図書館所蔵本が40余万冊，著名な学者であった羅振玉氏（1866～1940）の旧蔵書が約９万冊，やはり著名な学者であった王永江氏（1872～1927）の旧蔵書３万冊あまり，各地で収集購入したものが３万冊あまりとなっている。その内訳は，線装本漢籍が27万冊で，国家級の善本が2150種２万冊あまり，地方志は2491種，明清時代の輿地図が5000余幅，歴代の碑刻拓本が1500種あまり，さらに清代の内務府檔案（古文書）が2000件あまり，その他，各種の日本語文献が約18万冊，欧文古籍が約３万冊となっている。

大連図書館所蔵本中，最も名高いものは大谷光瑞氏の寄贈本を基礎とした一群の明清小説で，明清時代に刊行された中国通俗小説150種（戯曲作品を除く）が含まれ，その内の120種あまりが国家級の善本に列せられている。これら諸本の来源は，もともと大谷光瑞氏が1925年以降に当時の満鉄図書館に管理を委託した5000余冊の中国の古籍と欧文書籍約300冊で，その後，大連図書館に寄贈収蔵されることになったもので，その中に明清小説が含まれていたのである。この明清小説が，今日の大連図書館蔵明清小説の特色を形作っており，中には明代の刻本・抄本，清代初期の刻本や清代の抄本，満州文や満漢文合璧本，日本の刻本・抄本，さらには朝鮮刻本の貴重図書が含まれている。数例を挙げれば，明代刻本『警世陰陽夢』，清初刻本『後水滸伝』，日本抄本『珍珠舶』『連城璧』の他，『雲仙嘯』『驚夢啼』『合浦珠』『賽花鈴』『飛花艷想』等である。その他，満州文抄本『金瓶梅』が挙げられる。同書は中国国内の何箇所かの図書館に所蔵されてはいるが，その大部分は残本で，抄本も極めて少ない。大連図書館蔵本の満文『金瓶梅』は『繙訳世態炎涼』と題しており，抄写は極めてきちんとしており，字体もたいへん秀麗で整っている。その上，保存状態も極めて良好なため，たいへん貴重な文献となっている。その他には，清初の刻本『張竹坡批評 金瓶梅』（『張評甲種本』）も，

その学術価値によって重要視されている。

旧時，満鉄大連図書館は中国各地の地方志の蒐集を重視していたので，大連図書館には現中国の30に及ぶ省・市・自治区の1162の県の地方志2491種類が所蔵されている。やはりその多くが貴重本で，例えば康熙年間に編纂された江西省の地方志『弋陽県志』も孤本であり，今回の記念展観に出展された（後文解題を参照）。これら地方志の分類概要と特色ある地誌については後文を参照されたい。

大連図書館には輿地図822種3449幅を所蔵している。明清両朝の模写図，満文と満漢文合璧の地図，戦跡図・海口要隘図等はいずれも貴重な輿図である。中でも明代嘉靖時期に描かれた「楊子器跋輿地図」は中国最古級の輿地図で，楊子器（生没年不詳，明代後期の人）の跋文と嘉靖五年（1526）の紀年があり（現在,旅順博物館に貸出し中），古輿図中の逸品と称するに足るものである[6]。

清代の内閣大庫の檔案資料も，大連図書館所蔵の一大特色である。これらは奏折・各庫月折・官員呈文・銀物清冊・殿試試巻等からなり，その総数は2051件に上り，いずれも複写本ではなく正本である。清代の内閣大庫檔案は，清代当時にはすべてが「内府秘籍」に属し，そのため，その内容について，清末まで人々にあまり知られることがなかった。宣統元年（1909）に内閣大庫の壁が崩れたことによって，その中に収蔵されていた200万件以上の檔案が世に流出することになったが，大連図書館所蔵の檔案もその中の一部分ということになる。これら檔案の内容は清代の宮廷生活・経済活動・規程制度等の諸方面に及び，さらにまた社会生活・生産・社会矛盾等の多方面にわたる内容を含んでおり，清代の宮廷史を研究する上で貴重な第一級資料となっている。一例を挙げよう。曹頫（『紅楼夢』の作者・曹雪芹の父とされる人物）が駅站を騒擾し罪を得た事件に関する題本が館蔵檔案の中から発見されている。この発見は，単に史学の領域だけに止まらず，「紅学研究」（『紅楼夢』に関する研究）にも重要な意義を持っている[7]。さらに別のいくつかの題本檔案は，孝荘文皇后（1613～1688）に関する資料である。孝荘文皇后は清朝草創期の名高い皇后で，入関以前に軍国の大計に参画して皇太極（在位1626～1643）を補佐し，入関後は子の順治帝（在位1644～1661）を補佐し，非常な苦心を重ねて孫の康熙帝（在位1662～1722）を養育指導した人物である。当該檔案資料は彼女の晩年の生活ぶりを反映した内容を含んでおり，そのため，学界の注目する所となっている。

大連図書館にはまた1500余種の碑帖拓本を所蔵する。大連地区に属する碑刻は40余通，満漢文合璧のものが70余通，その他も東北各地の碑刻である。大部分が清代中期以後の拓本ではあるが，今日では，戦乱など各種の原因によって碑刻原石の多くが失われており，やはり非常に貴重である。中でも遼陽の『大金喇嘛法師宝記』碑は，後金（清朝入関前の国号）の天聡四年（1630）の刻石である。これは今までに発見された清代最古の碑文であり，また清代唯一の無圏点の満州文字で書かれた碑文であることに加えて清代最古の喇嘛教碑文でもあるため，清代の歴史・民族・宗教・言語を研究する上で極めて重要な意義を有する。この他，『好太王碑』

拓本は初期の整った四面の拓本で，やはり得難いものである。

大連図書館の史部類の書籍では，孤本『皇明典礼』と明代の抄本『諸家謚文類編』等もたいへん貴重である。『皇明典礼』は明初の建文二年（1400）の刻本で，建文年間の刻本自体が中国国内でも極めて稀である。公牘檔冊に属するものでは，稿本『奉使公函稿』がある。これは清末の駐ドイツ公使であった呂海寰（1840～1927）が庚子と辛丑の年（1900・1901）にドイツに出仕し，奕劻（1836～1918）等に送った公函で，清末の外交活動を研究する上で極めて価値の高い第一級資料である。また写本『朝鮮国王来書稿』は，朝鮮仁祖皇帝（李倧）が後金天聡元年（1627）に清朝の太宗皇太極に送った国書の副本で，清朝入関前の後金と朝鮮との関係を研究するための重要な文献で，とりわけ，この書稿に附載された「礼単」は極めて得難いものである。

ドイツ語・フランス語・英語・ロシア語等29種の文字で書かれた欧文古籍も大連図書館の貴重な宝である。中でも館蔵「遠東文庫」の17・18世紀の西洋宣教師たちの中国に関する一連の著述や，四巻本豪華装丁の大冊『中華帝国全志』（『中華帝国及びその所属の韃靼地区の地理・歴史・編年記・政治と博物』。*Description géographique, historique, chronologique, politique et physique de l'Empire de la Chine et de la Tartarie Chinoise*）の1735年パリ初版本と1738年ロンドン版は，フランスで生活した耶蘇会士の杜赫徳（デュ・アルド Jean Baptiste Du Halde 1674～1743）が，当時の教会が収集し得る限りの中国資料を用いて編纂した中国問題研究の空前の巨著であり，大量の中国文献資料を収載している。また「猶太文庫」にはヘブライ（希伯来）文字で書かれた著作が若干有り，研究の更なる深化が期待されている。『猶太人大百科全書』（*Encyclopaedia Judaica*）も堂々たる大冊で，豪華精緻な作りで，極めて珍重されている。

さらに歴史的な原因から，満鉄大連図書館には大量の満鉄資料と図書を収蔵した。その総数は今日の中国国内に収蔵する満鉄資料の約八割を占めている。その内，中国東北地方文献資料は12052種に達し，日本語資料も8756種所有している。これらは主に満鉄・関東州や偽満州国の各種出版物で，いずれの出版物にも日本の中国東北統治時期の政治・経済・文化と社会等の面について全面的で詳細な記録が残されており，当時の東北植民地の歴史を研究するための大切な資料となっている。

豊富な館蔵資源を擁することもあって，大連図書館では学術研究・文献開発とその利用を絶えず重視してきた。このため，館内に学術委員会を立ち上げ，歴史文献研究所を設置している。現在，大連図書館内の研究館員は３名，副研究館員14名で，その他の館員は66名，助理館員が21名となっている。研究課題は，主に明清小説研究・満鉄資料研究・清朝内府檔案研究・羅振玉学術研究・王永江学術研究・東北地方史研究・中国儒学文献研究・和刻本漢方医古籍研究・古籍整理修復研究等である。

以下，国内外の学術界で比較的大きな影響力を生んだ主な研究成果を挙げてみよう。大連図

書館を編集主体として，すでに3500万字にも及ぶ『中国館蔵満鉄資料聯合目録』（全30巻）を完成させている。これは中国の国家「九五」社会科学部門における重要な社会科学研究項目のひとつである。2002年には180万字に及ぶ『大連図書館蔵満鉄資料目録』（遼寧人民出版社）を出版し，1999年には『大連図書館蔵孤稀本明清小説叢刊』を編輯し，計55種64函301冊（線装本）を影印出版した（華宝斎書社影印出版）。また近代中国の学術界の大御所・羅振玉氏の学術全集『羅雪堂合集』は張本義館長の主編に係り，同全集には羅氏のすべての学術論著・書簡等を収載する。その総計は186種39函（線装本）に上り，すでに杭州の西泠印社出版社から正式に発行された。この『合集』は羅氏の学術著作に関して，現時点で，その蒐集・鑑別・版本・印刷の各面において最も優れた内容となっている。同書の出版は必ずや学術界に大きな影響力を生むことになるであろう。さらに，別に『大連図書館蔵少数民族古籍図書綜録』等も編輯出版されており，現在，編輯中のものには『大連図書館古籍善本図録』等がある。

近年，大連図書館では一連の貴重書影印出版も行ってきた。『沈向齋稿本 旧事重提』（華宝斎書社影印出版）『文選纂注評林』[8]や『小方壺斎輿地叢抄三補編』等がそれである。『小方壺斎輿地叢抄』は，清代の王錫祺（1855～1913）が編輯した清代中外地理の資料集成で，正編以外に『同補編』『同再補編』をともない，内容がたいへん豊富で，清末に出版されて以降，一貫して学界の重視を受けてきた地理叢書である。2004年に，西泠印社出版社から影印刊行された『小方壺斎輿地叢抄三補編』（線装十二冊）は，大連図書館所蔵稿本が影印の底本で，今までに出版されたことがなく，今次の影印出版は学林に新たな恵みをもたらすものと思う[9]。

上記の通り，大連図書館では，館蔵の古籍文献保護を大いに重視してきた。先頃，巨費を投じ，大部分の古籍文献・碑刻拓本や新聞資料について樟木製の書函や布張りの書套（書帙）を約４万点製作した。2006年には，新たに館内に古籍修復センターを設置したが，さらに５年以内に大量の資金を投入し，古籍文献の保護修復作業を新しい段階に高めるべく計画を進めている。

現在，大連図書館ではコンピュータ技術を活用し，古籍文献のデジタル化作業を進めており，初歩的な成果をすでに得ており，その一部をインターネット上で公開している。５年以内に全館の大部分の重要古籍文献資料についても，全文デジタル化を実現する計画となっている。

以上が大連図書館の古籍収蔵を中心とした現況報告である。

㈡ 大連図書館所蔵善本解題（「大連図書館出品善本解題」）

2006年５月開催の記念展観書籍解題から大連図書館善本の解題「大連図書館出品善本解題」（大連図書館古籍部撰文，木田知生編訳）部分を抜粋することとする。再録に際して，「大谷文庫」本の図書番号を加える等，若干の補足訂正を加えた。

『弋陽県志』十巻　　史12.2／190 国善（国史12.2—190）　大谷3823—11

江西省上饒市弋陽県の地方志。清・陶燿撰，康熙十二年（1673）刊本。

巻首に康熙十二年の高夢説・鄭日奎・鄧瑗の序，康熙十一年の撰者の自序があり，次に撰者「徴修県志啓」及び凡例，さらに「県志姓氏」「弋陽県志図考」と続く。その末には校刻者等の姓名を載せる。弋陽県葛溪駅駅丞支本棟督梓。綜録：戴天高・詹道先・汪士源・童年発・汪士奇。剞劂：劉惟善・呉応祥。

九行二十字で，小字の双行も同じ。白口，四周双辺，匡郭は二〇・八×一三・五cm。四冊一函。

「大谷光瑞蔵書」「大谷光瑞氏寄贈」「南満州鉄道株式会社大連図書館 昭.13.6.9」「南満州鉄道株式会社図書印」「旅大市図書館蔵書印」「旅大市図書館所蔵善本」の六印がある。

「国善」（国家級の善本の意味）である。大連図書館のみに蔵される孤本[10]。

『焦山続志』八巻　　大谷3821—24

江蘇省鎮江の地理叢書『京口三山志』（四種七十二巻。本書以外には清・呉雲輯『焦山志』二十六巻首一巻，清・周伯義輯『北固山志』十四巻首一巻，清・周伯義輯『金山志』二十巻首二巻がある）の一つ。一種の名勝記である。

清・陳任暘輯，釈斉瀛校，光緒三十一年（1905）刊本。宜興陳任暘輯と題す。

巻首に陳任暘の光緒三十年の自序があり，つぎに例言を載せ，さらに校者の光緒三十年の跋がある。

九行二十一字で，小字の双行も同じ。白口，左右双辺，黒単魚尾，匡郭は一七・八×一二・二cm。二冊一函。

「大谷光瑞蔵書」「南満州鉄道株式会社大連図書館 昭.15.9.28」「南満州鉄道株式会社図書印」「旅大市図書館蔵書印」の印記がある[11]。

『古今游名山記』十七巻総録三巻　　史12.7／263 国善（国史12.7—263）　大谷3804—2

中国各地の名山記である。明・何鏜輯，嘉靖四十四年（1565）刊本。「括蒼何鏜振卿甫編輯，廬陵呉炳用晦甫校正」と題す。

巻首に嘉靖四十二年の黄佐の序と嘉靖四十三年の呉炳の序がある。凡例の後に総録三篇「勝記・名言・類考」を載せる。

版心には呉良・熊楽・熊成七・熊鳳・熊厳春・鄒科・姜俸・熊一清・鄒興・郭相・熊智・徐盛・熊一濂・傅奇・鄒采・余爵・楊本真・鄒国賓・熊秀・熊啓・傅時・呉京・張時暁・劉守奇・楚山・李松・郭叩・黄彬・鄧舜等，多数の刻工名が見える。

十四行二十七字，小字双行も同じ。白口，左右双辺，まま黒白単魚尾がある。匡郭は一九・七×一三・七cm。十一冊一函（存巻第一至第十四）。

「大谷光瑞蔵書」「写字台之蔵書」「大谷光瑞氏寄贈」「南満州鉄道株式会社大連図書館昭.15.10.1」「南満州鉄道株式会社図書印」「旅大市図書館所蔵善本」の六印がある。

大連図書館所蔵本は後の三巻（存巻第十五至第十七）一冊を欠いているが，その部分は，現在，龍谷大学大宮図書館「写字台文庫」に所蔵しており（「写字台之蔵書」印のみ），何鎧撰「游名山記後序」を附している[12]。

「国善」図書である。

『新鐫繡像珍珠舶』六巻十八回　　集6／9国善　大谷25—30

清代の中編小説集。清・徐震（号は煙水散人）撰，日本鈔本。「鴛湖煙水散人著，東里幻庵居士批」と題す。

巻首に撰者の自序がある。

八行二十字，白口，匡郭は二五・五×一七cm。六冊一函。

まま朱筆の校記が見られる。

「大谷光瑞蔵書」「写字台之蔵書」「S.M.R・LIBRARY・S.M.R.　昭.5.7.18」「南満州鉄道株式会社図書印」「旅大市図書館所蔵善本」「大連図書館蔵」の六印がある。

本書は小説集で，毎巻三回から成り，各巻一物語を叙述している。孤本である。鈔本のためか繡像は無い（もとの刊本には有ったと思われる）。

「国善」図書である。

『連城璧』十二回　外編　四回　　集6／19国善　大谷25—26

清代小説。清・李漁（号覚世稗官）撰，杜濬評，日本鈔本。「覚世稗官編次，睡郷祭酒批評」と題す。

巻首に睡郷祭酒（杜濬）の序がある。

九行十八字，白口，左右双辺，黒単魚尾，匡郭は二三・八×一五・七cm。八冊二函。

華陽と署名するペン書きの眉批がある。本書には本編外編ともに訓点と送り仮名が施されているが，例えば，第二回の本文「只為他在衙門中做了許多好事，感動天心，所以神差鬼使教那華陽山人替他改了八字，湊着這段機縁。」の個所には，眉批に「華陽曰。神差鬼使訓点誤。差，差役也，与鬼使同辞。」とある。

「大谷光瑞藏書」「写字台之蔵書」「S.M.R・LIBRARY・S.M.R.　昭.5.7.18」「南満州鉄道株式会社図書印」「旅大市図書館所藏善本」「大連図書館蔵」の六印がある。

本書には別に刻本も存するが，大連図書館所蔵本は鈔本である。目次には「回」とするが，本編では「回」を「地支（子丑寅卯等）」に代え，外編では「回」を「巻」に代えている。序文の版心下には「挹玉楼蔵」と記す。書眉と回後には杜濬が評をつけている。また外編巻之一の巻頭には「閑喬山人訳」と題している。

「国善」図書である。

以上の五点，いずれも記念展観に出展された大連図書館善本の解題内容である。今回の展観に先立って，事前に出国展観点数自体が限定されることが判明したので，その選定に苦慮したが，大連図書館側との度重なる協議を経て，最終的に本稿筆者が特に上記数点の出展を依頼し，相手方の許諾を得た。その事由は，すでに解題内容に大半が示されているが，今回のように限られた点数の選定に際しては，特に龍谷大学大宮図書館所蔵本との関連を重視せざるを得なかった。五点ともに「大谷光瑞藏書」の印が捺され，三点に「写字台文庫」旧蔵本であることを示す「写字台之蔵書」の印記が有ったことは，その選定理由の共通項である。とりわけ『古今游名山記』全十二冊は，所蔵先が大連図書館（十一冊）と龍谷大学大宮図書館（一冊）に別れたもので，戦前期の蔵書移管に伴う混乱が見て取れる稀有な事例である。同様な事例はまだ別に存在するように予想される。以後の精査を期したい。

二　大連図書館所蔵「大谷文庫」地誌について

すでに前文で簡単に紹介したように，大連図書館所蔵の地誌地方志は，その蔵書量がかなり豊富であり，また内容にも特色がある。大部分は旧満鉄図書館からの移管引継ぎ図書であるが，その蔵書中には相当数の「大谷文庫」本や若干の「写字台文庫」本が含まれており，その事は現在も各図書の蔵書印や図書ラベル等で相当程度まで確認できる。以下，大連図書館の館蔵「大谷文庫」地誌分類の大要を示す。さらに特色を有する諸本については別に解説を加える。

大連図書館の「大谷文庫地誌」の分類カードは，現在，木製の図書カード箱「大谷文庫地誌」一箱に収納されており，大略，以下に示すように分類配列されている。同地誌関連図書自体が同一書架に一括して配置されているわけではなく，図書それぞれの書架配列に準じている。但し，分類カードが「大谷文庫地誌」として一応のまとまりを保っていることは，同文庫の歴史的な来歴や意義を考える上で手助けになることは事実である。大連図書館の戦前戦後の数奇な所蔵史を考える時，貴重な図書資料の保全に尽力された関係者には，深甚なる謝意を表したい。

今回の「大谷文庫」本地誌資料の採録記載に際しては，基本的には現在の収蔵現況を重んじながら，かつての収蔵の概容を復元することを考慮した。分類配列の大綱は，概ね大連図書館編輯に係る『大連図書館蔵地方志目録』（大連市図書館社科参考部編，1985年10月刊。書名は見返し書名頁のそれに拠る）に準拠したが，他本の記載情報に基づいて記載内容を敢えて書き改めた箇所もかなり有る。当然，かつての『大連図書館増加図書分類目録』[18]等を参照したが，やはり書名・纂修者名や配列・図書分類番号等，かなりの箇所に訂誤を加える必要があった。また，中国地方志の纂修者名等の表記は，『中国地方志聯合目録』等を参考に，比較的公

認されている表記に概ね近づけた。書名・纂修者名等に見られる誤植や刊刻年代の誤り等は，極力訂正を試みたが，図書分類番号の改編・付け替えに伴って諸本の来歴が曖昧となった事例がかなり有る上に，筆者自身も全書を逐一精査したとは言えず，まだ，かなりの間違いや遺漏が残っている可能性が有る。今後も訂正増補に努めたいと思う。

以下の分類の紅・藍等の表記はカード紙片の色分けを示す。「大」は「大谷文庫地誌」本の略号とし，煩雑を避ける意味から書名括弧は省いた。また，かつての図書分類番号は，例えば「大谷381.1 河北省」「滄州志 大谷381.1—7」のように表記するのが正則であったが，実際のところ，その表記も年度によって異なっている。そこで地方志地誌の諸本については，解題を加えた諸本を含め，いずれも「大3811—7」の如く略記することとした（現在，大連図書館でも大略同様の扱い）。中国国内において，同一版本の伝本が少ない（所蔵機関が少ない）場合には「稀本」と記入したが，その目安は，中国国内での収蔵が数点に限られる場合で，より貴重な場合には，別に注釈を加えた。なお，内蒙古地誌はもとから「大谷文庫」本地誌中には含まれていない。和書（日本書籍）に関する書誌情報は，簡略に記載するに留めた。また，旧満鉄大連図書館の「和漢図書分類表」の詳目については，同館編『南満州鉄道株式会社大連図書館和漢図書分類目録』第一巻至第十三巻（昭和六年十一月至同十三年二月間刊行）等を参照されたい。

紅　大谷文庫地誌

藍　大谷360　「地誌一般　世界地誌」

・海国図志　一百巻

(清)魏源撰　日本安政二年刻本　(残)八巻　大360—1

・非園中外地輿歌

(清)瞿方梅編撰　光緒二十七年　三十六頁　瞿氏五種之一　大360—2

大谷37

紅　日本地誌

白　大谷370.7　陵墓

・炎陵志　十巻

(清)王雲樵 毛青垣編　道光十八年刻本　大3707—1　和大[14]

藍　大谷374.　近畿

・摂津名所図会　十二巻

(日)秋里籬島著 竹原信繁画 惜陰室主人序　(残)六巻　大374—1

・大和名所図会　六巻

(日)秋里籬島著 竹原信繁画 清原宣条序　(残)三巻　大374—2

白　大谷379.1　台湾

・〔乾隆〕続修台湾府志　二十六巻首一巻

(清)余文儀 黄佾纂修　同治十一年補刻乾隆三十九年刻本　十二冊　大3791—1　和大　S14

・続修台湾県志　八巻首一巻（闕巻第五第六）

(清)薛志亮 鄭兼才等纂修　道光元年鄭兼才補刻嘉慶十二年刻本　六冊　大3791—3　和中　S14

・台湾府噶瑪蘭庁志　八巻

(清)薩廉 陳淑均纂修 董正官続修 李祺生続纂修　咸豊二年仰山書院刻本　八冊　大3791—2　和大　S14

紅　大谷38　中国地誌

藍　大谷380.　中国地誌一般

・大明一統志　九十巻（闕巻第十四至第二十一）

(明)李賢等撰　元禄十二年日本京都弘章堂刻本　五函五十四冊　大380—1　和大　S13

・元和郡県志　附補志　四十巻（原闕巻第六）

(唐)李吉甫撰　光緒六至八年金陵書局刻本　一函八冊　大380—2　和大　S13

・乾隆府庁州県図志　五十巻

(清)洪亮吉撰　光緒五年授経堂刻本　二函十一冊　大380—3　和大　S14

・太平寰宇記　二百巻（原闕巻第四第一百十三至第一百十九）

(宋)楽史撰　光緒八年金陵書局刻本　四函三十六冊　大380—4　和大　S14

・方輿紀要簡覧　三十四巻

(清)顧祖禹撰 潘鐸輯　光緒二十八年経元書室刻本　二函十六冊　大380—6　和大　S14

・広輿記　二十四巻

(明)陸応陽輯 (清)蔡方炳増輯　光緒四年緑蔭堂刻本　二函十二冊　大380—8　和大　S14

・広輿記　二十四巻

(明)陸応陽輯 (清)蔡方炳増輯　光緒四年緑蔭堂刻本　一函十二冊　大380—12　和中

・天下郡国利病書　一百二十巻

(清)顧炎武撰　光緒二十七年上海図書集成局鉛印本　二函二十八冊　大380—9　和小　S14

・三省辺防備覧　十八巻

(明)厳如煜　道光十年来鹿堂刻本　一函四冊　大380—10　和大　S14

・殊域周咨録　二十四巻（闕巻第一至第十一，巻第十六至第二十四）

(明)厳従簡撰　日本抄本　一函四冊　大380—11　和大

・輿地紀勝　二百巻　附補闕十巻校勘記五十二巻

(宋)王象之撰 補闕(清)岑建功輯 校勘記(清)劉文淇劉毓崧同撰　道光二十九年懼盈斎刻本　二函十四冊　大380—13　和大

・元豊九域志　十巻

(宋)王存等撰　乾隆武英殿聚珍版本　八冊　大380—7　和大　S14

・元豊九域志　十巻

(宋)王存等撰　乾隆四十九年馮集梧刻本（文廷式旧蔵書）　一函五冊　大380—14　和大

・元豊九域志　十巻

(宋)王存等撰　光緒八年金陵書局刻本　一函四冊　大380—15　和大

・大清一統志　五百巻（闕巻第二百三十七至第二百九十）

乾隆二十九年勅撰　光緒二十八年上海宝善斎石印本　六函五十九冊　大380—16　和大

白　大谷380.32　浙江全省　輿図

・浙江全省輿図並水陸道理記（不分巻）

(清)宗源翰等撰　光緒二十年浙江輿図總局石印本　二函二十冊　大38032—1　和大　S14[15]

白　大谷380.33　広東図

・広東図　二十三巻（存十二巻）

不著編著名氏（清)陳澧絵図　同治五年刻本　一函三冊　大38033—1

白　大谷380.4　中国遊記

・蜀輶日記　四巻

(清)陶澍撰　光緒七年刻本　一函二冊　大3804—1　和大

・辛卯侍行記　六巻（闕巻第一至第三）

(清)陶葆廉撰　光緒二十三年養樹山房刻本　一函三冊　大3804—3　和大

白　大谷380.6　山河　沼湖　海洋

・皇朝輿地水道源流　五巻

(清)胡宣慶纂　光緒刻本　一函一冊　大3806—2

・水道提綱　二十八巻

(清)斉召南撰　光緒二十三年上海古香閣書局石印本　一函四冊　大3806—3　和小

・水経注匯校　四十巻首一巻　附水経注釈附録二巻

(北魏)酈道元撰（清)楊希閔校 附録(清)趙一清撰　光緒七年福州刻本　二函十二冊　大3806—4　和大

・水経注　四十巻

(北魏)酈道元撰　武英殿聚珍版活字印本　二函十六冊　大3806—5　和大

白　大谷381.1　河北省[16]

・〔咸豊〕臨漳県志　六巻（闕巻第二至第五）

(清)張済纂修　咸豊十年刻本　二冊　大3814—14　和中　S14

・〔乾隆〕順徳府志　十六巻

(清)徐景曽 沈樹楣等纂修　乾隆十五年刻本　十二冊　大3811—19

・〔道光〕南宮県志　十六巻

(清)周栻 陳柱纂修　道光十一年刻本　八冊　大3811—12—1

・〔同治〕増修平郷県志　十二巻首一巻

(清)蘇性纂修 呉沂続修　光緒十二年増刻同治七年刻本　四冊　大3811—5

・〔康熙〕宣化県志　三十巻

(清)陳坦 林盛纂修　康熙五十年刻本　六冊　大3811—50

・〔乾隆〕滄州志　十六巻

(清)徐時作 荘日栄等纂修　乾隆八年刻本　六冊　大3811—7　和中　S13

・〔光緒〕南皮県志　十五巻首一巻末一巻

(清)段樹森 汪宝樹等纂修　光緒十四年　七冊　大3811—8　和大　S14

・〔乾隆〕任丘県志　十二巻首一巻

(清)劉統 劉炳等纂修　乾隆二十七年刻本　十一冊　大3811—10

・〔道光〕重修深州直隷州志　十巻首一巻末一巻

(清)張範東 李広滋等纂修　道光七年刻本　四冊　大3811—2[17)]

白　大谷381.2　山東省

・〔乾隆〕嶧県志　十巻首一巻

(清)忠璉纂修　乾隆二十六年刻本　二冊　大3812—7

・〔乾隆〕陽信県志　八巻首一巻

(清)王允深 沈佐清纂修　乾隆二十四年刻本　五冊　大3812—13　和中　S13

・〔乾隆〕萊州府志　十六巻首一巻

(清)厳有禧 張桐纂修　乾隆五年刻本　八冊　大3812—1

・〔道光〕栄成県志　十巻

(清)李天隲 岳賡廷纂修　道光二十年刻本　四冊　大3812—9

・〔康熙〕沂州志　八巻

(清)邵士 王燻等纂修　康熙十三年刻本　八冊　大3812—14　和中　S13

・〔乾隆〕泰安府志　三十巻前一巻首二巻

(清)顔希深 成城纂修　乾隆二十五年刻本　十八冊　大3812—2

・〔道光〕泰安県志　十二巻首一巻末一巻

(清)徐宗幹 蔣大慶等纂修　同治六年楊宝賢補刻道光八年刻本　十四冊　大3812—12

・〔康熙〕萊蕪県志　十巻

(清)葉方恒纂修　康熙十三年刻本　四冊　大3812—4

・〔光緒〕寧陽県志　二十四巻

（清）高陞栄 黄恩彤等纂修　光緒五年刻本　十二冊　大3812—3

・〔康熙〕続修汶上県志　六巻

（清）聞元炅纂修　康熙五十六年刻本　二冊　大3812—10

・〔乾隆〕曲阜県志　一百巻

（清）潘相纂修　乾隆三十九年聖代堂刻本　十二冊　大3812—11

・〔康熙〕寿張県志　八巻

（清）滕永禎 馬珩等纂修　康熙五十六年刻本　四冊　大3812—5

・〔道光〕冠県志　十巻

（清）梁永康 趙錫書等纂修　道光十年刻本　四冊　大3812—8

白　大谷381.3　山西省

・〔乾隆〕山西志輯要　十巻首一巻　附 清涼山志輯要　二巻

（清）雅徳修 汪本直纂修　乾隆四十五年刻本　二十四冊　大3816—6

・〔光緒〕代州志　十二巻首一巻

（清）兪廉三 楊篤纂修　光緒八年刻本　六冊　大3813—12　和大　S13

・〔同治〕河曲県志　八巻

（清）金福増 張兆魁纂修　同治十一年刻本　八冊　大3813—9

・〔光緒〕続修嵊県志　八巻

（清）趙冠卿 潘肯堂等纂修　光緒八年刻本　八冊　大3813—14　和中　S13

・〔雍正〕定襄県志　八巻

（清）王時炯纂修 王会隆続修　雍正五年増補康熙五十一年刻本　五冊　大3813—2

・〔康熙〕黎城県志　四巻

（清）程大夏 李御等纂修　康熙二十一年刻本　四冊　大3813—15　和中　S13

・〔道光〕壺関県志　十巻首一巻

（清）茹金纂修　道光十四年刻本　六冊　大3813—13　和中　S13

・〔嘉慶〕長子県志　二十一巻首一巻

（清）劉樾 樊兌纂修　嘉慶二十一年刻本　八冊　大3813—7

・〔乾隆〕武郷県志　六巻首一巻

（清）白鶴 史伝遠纂修　乾隆五十五年刻本　六冊　大3813—8

・〔光緒〕武郷県続志　四巻

（清）呉匡 鈕増垚纂修　光緒五年刻本　四冊　大3813—11

・〔乾隆〕沁州志　十巻首一巻

（清）葉士寛 雷暢 呉正纂修 姚学瑛 姚学甲続纂修　乾隆三十六年刻本　十冊　大3813—10

・〔雍正〕洪洞県志　九巻

（清）余世堂 蔡行仁纂修　雍正八年刻本　四冊（存巻第二至巻第四，巻第九）　大3813—17　和大　S14

・〔道光〕太平県志　十六巻首一巻

（清）李炳彦 梁棲鸞纂修　道光五年刻本　四冊　大3813—16　和大　S13

・〔乾隆〕蒲州府志　二十四巻図一巻

（清）周景柱等纂修　乾隆十九年刻本　十冊　大3813—1

・〔乾隆〕解州全志　十八巻図一巻

（清）言如泗 莫溥纂修　乾隆二十九年刻本　四冊　大3813—5

・〔乾隆〕直隷絳州志　二十巻図考一巻

（清）張成徳 李友洙纂修　乾隆三十年刻本　八冊　大3813—4[18]

白　大谷381.4　河南省

・〔康熙〕河陰県志　四巻

（清）申奇彩 毛泰徴纂修　康熙三十年刻本　四冊　大3814—6

・〔康熙〕開封府志　四十巻

（清）管竭忠 張沐等纂修　康熙三十四年刻本　十二冊　大3814—19

・〔乾隆〕彰徳府志　三十二巻首一巻

（清）盧崧 江大鍵等纂修　乾隆五十二年刻本　二十冊　大3814—3

・〔順治〕洪県志　十巻図考一巻

（清）王謙吉 白龍躍等纂修　順治十七年刻本　二冊　大3814—4

・〔嘉慶〕開州志　八巻首一巻

（清）李符清 沈楽善纂修　嘉慶十一年刻本　六冊　大3811—1[19]

・〔光緒〕扶溝県志　十六巻首一巻

（清）熊燦 張文楷等纂修　光緒十九年刻本　六冊　大3814—5

・〔嘉慶〕魯山県志　二十六巻

（清）董作棟 武億纂修　嘉慶元年刻本　六冊　大3814—9　和中　S13

・〔嘉慶〕洧川県志　八巻首一巻

（清）何文明 李紳纂修　嘉慶二十三年刻本　四冊　大3814—13　和中　S14

・〔順治〕臨潁県志　八巻

（清）李馥先 呉中奇纂修　順治十七年刻本　四冊　大3814—12　和中　S14

・〔乾隆〕臨潁県続志　八巻

（清）劉沆 魏運嘉纂修　乾隆十二年刻本　二冊　大3814—12

・〔同治〕葉県志　十巻首一巻

（清）欧陽霖 倉景恬等纂修　同治十一年刻本　八冊　大3814—8

・〔乾隆〕光山県志　三十二巻首一巻

（清）楊毅梓 銭時雍等纂修　乾隆五十一年刻本　十二冊　大3814—1

・〔乾隆〕河南府志　一百十六巻首四巻

（清）施誠 童鈺等纂修　同治六年陳肇鏞重校補刻乾隆四十四年刻本　三十二冊　大3814—16

・〔道光〕重修伊陽県志　六巻首一巻末一巻

（清）張道超 馬九功等纂修　道光十八年刻本　六冊　大3814—11　和中　S13

・〔乾隆〕嵩県志　三十巻首一巻

（清）康基淵纂修　乾隆三十二年刻本　四冊　大3814—10　和中　S13

・〔乾隆〕重修直隷陝州志　二十巻首一巻（闕巻第三至第八）

（清）龔崧林 楊建章纂修　乾隆二十一年刻本　八冊　大3814—15　和中　S14

・〔光緒〕陝州直隷州志　十五巻首一巻

（清）趙希曽 孔広聡等纂修　光緒十七年刻本　十二冊　大3814—7

白　大谷381.5　陝西省

・〔雍正〕陝西通志　一百巻首一巻

（清）劉於義 沈青崖等纂修　雍正十三年刻本　一百冊　大3815—23　和大　S13

・〔嘉慶〕長安県志　三十六巻

（清）張聡賢 董曽臣纂修　同治十二年宣城方啓憲補刻嘉慶二十年刻本　六冊　大3815—13

・〔乾隆〕続耀州志　十一巻

（清）汪灝 鍾麟書纂　乾隆二十七年刻本　二冊　大3815—15

・〔乾隆〕宝鶏県志　十六巻

（清）鄧夢琴 董詔等纂修　乾隆五十年刻本　四冊　大3815—5

・〔乾隆〕綏徳州直隷州志　八巻

（清）呉忠誥 李継嶠纂修　乾隆四十九年刻本　四冊　大3815—8

・〔嘉慶〕洛川県志　二十巻首一巻

（清）劉毓秀 賈構等纂修　嘉慶十一年刻本　四冊　大3815—10[20)]

・〔乾隆〕醴泉県志　十四巻図一巻

（清）蔣騏昌 孫星衍纂修　乾隆四十九年刻本　四冊　大3815—24　和中　S14

・〔同治〕三水県志　十二巻首一巻

（清）姜桐岡 郭四維纂修　同治十一年刻本　四冊　大3815—27

・〔光緒〕新続渭南県志　十二巻

（清）厳書麟 焦聯甲等纂修　光緒十八年刻本　六冊　大3815—28

・〔乾隆〕白水県志　四巻首一巻

(清)梁善長纂修　乾隆十九年刻本　四冊　大3815—17

・〔乾隆〕直隸商州志　十四巻首一巻

(清)王如玖纂修　乾隆九年刻本　八冊　大3815—11

・〔乾隆〕商南県志　十二巻

(清)羅文思纂修　乾隆十三年刻本　四冊　大3815—21　和大　S13

・〔光緒〕孝義庁志　十二巻首一巻

(清)常毓坤 李開甲等纂修　光緒九年刻本　四冊　大3815—20　和大　S13

・〔乾隆〕興安府志　三十巻　〔嘉慶〕続興安府志　七巻補遺一巻

(清)李国麟纂修 葉世倬続纂修　道光二十八年刻本　十冊　大3815—4

・〔嘉慶〕安康県志　二十巻

(清)鄭謙 王森文纂修　嘉慶二十年刻本　四冊　大3815—2

・〔嘉慶〕安康県志　二十巻

(清)鄭謙 王森文纂修　咸豊三年劉応祥重刻嘉慶二十年刻本　四冊　大3815—9

・〔嘉慶〕漢陰庁志　十巻首一巻

(清)銭鶴年 董詔等纂修　嘉慶二十三年刻本　六冊　大3815—19　和中　S13

・〔道光〕留壩庁志　十巻　附足徵録　四巻

(清)賀中璈 蔣湘南纂修　道光二十二年刻本　四冊　大3815—16

・〔光緒〕洋県志　八巻

(清)張鵬翼纂修　光緒二十四年刻本　八冊　大3815—12

・〔光緒〕佛坪庁志　二巻首一巻

(清)劉煐纂修　光緒九年刻本　一冊　大3815—18　和大　S13

・〔光緒〕定遠庁志　二十六巻首一巻

(清)余修鳳纂修　光緒五年刻本　六冊　大3815—6

・〔道光〕褒城県志　十一巻

(清)光朝魁纂修　道光十一年刻本　四冊　大3815—14

・馬嵬志十六　巻首一巻

(清)胡鳳丹編　光緒三年永康胡氏退補斎刻本　六冊　大3815—25　和大　S14　名勝白　大谷381.6　甘粛省　青海省

・五涼考治六徳集全誌　五巻（闕巻第一）

(清)張玿美 曽鈞纂修　乾隆十五年刻本　二冊　大3816—11　和大　S14（詳目は以下に別記）

・〔乾隆〕平番県志　一巻

(清)張玿美 曽鈞纂修　乾隆十五年刻本　『五涼考治六徳集全誌』第五巻　一冊　大3816—11

・〔乾隆〕永昌県志　一巻

(清)張玿美 沈紹祖等纂修　乾隆十五年刻本　『五涼考治六徳集全誌』第三巻　一冊　大3816—11

・〔乾隆〕続修静寧州志　八巻首一巻

(清)王烜纂修　乾隆十一年刻本　四冊　大3816—2

・〔乾隆〕涇州誌　二巻

(清)張延福 李瑾纂修　乾隆十九年刻本　二冊　大3816—3

・〔乾隆〕環県志　十巻首一巻

(清)高観鯉纂修　乾隆十九年刻本　二冊　大3816—5

・〔乾隆〕合水県志　二巻

(清)陶奕曽纂修　乾隆二十六年刻本道光二十二年増刻本　二冊　大3816—9　和中　S13

・〔乾隆〕伏羌県志　十四巻

(清)周銑 葉芝纂修　乾隆三十五年刻本　四冊　大3816—10　和中　S13

・〔乾隆〕成県新志　四巻

(清)黄泳 汪於雍等纂修　乾隆六年刻本　四冊　大3816—1

・〔光緒〕文県志　八巻首一巻末一巻

(清)長贇 劉健等纂修　光緒二年刻本　六冊　大3816—8

・〔乾隆〕鎮番県志　一巻

(清)張玿美 曽鈞纂修　乾隆十五年刻本　『五涼考治六徳集全誌』第二巻　一冊　大3816—11

・〔道光〕重修鎮番県志　十巻首一巻

(清)許協 謝集成纂修　道光五年刻本　五冊　大3816—6

・〔乾隆〕古浪県志　一巻

(清)張玿美 趙璘等纂修　乾隆十四年刻本　『五涼考治六徳集全誌』第四巻　一冊　大3816—11

・〔乾隆〕重修粛州新志　三十巻

(清)黄文煒纂修　乾隆二十七年補刻本　十二冊　大3816—7

白　大谷382　闕[21)]

白　大谷382.1　江蘇省

・〔乾隆〕江南通志　二百巻首四巻

(清)尹継善 黄之雋等纂修　乾隆元年刻本　百冊　大3821—7

・〔嘉慶〕新修江寧府志　五十六巻

(清)呂燕昭 姚鼐纂修　光緒六年重刻嘉慶十六年刻本　十二冊　大3821—9

・〔同治〕徐州府志　二十五巻

(清)呉世熊 劉庠等纂修　同治十三年刻本　十六冊　大3821—18　和中　S13

・〔康熙〕常州府志　三十八巻首一巻

(清)于琨 陳玉璂纂修　光緒十二年木活字重印本　二十一冊　大3821—15　和中　S13

・〔嘉慶〕贛檮県志　四巻首一巻

(清)王城 周萃元纂修　嘉慶元年刻本　四冊　大3821—16　和中　S13

・〔嘉慶〕海州直隷州志　三十二巻首一巻

(清)唐仲冕 汪梅鼎等纂修　嘉慶十六年刻本　十二冊　大3821—6

・〔咸豊〕邳州志　二十巻首一巻

(清)董用威 魯一同纂修　咸豊元年刻本　四冊　大3821—19　和中　S14

・〔嘉慶〕高郵州志　十二巻首一巻

(清)楊宜崙 夏之蓉等纂修 馮馨夏味堂増修　道光二十五年重刻嘉慶十八年刻本　十六冊　大3821—11

・〔道光〕続増高郵州志　不分巻

(清)左輝春 宋茂初等纂修　道光二十三年刻本　六冊　大3821—10

・〔光緒〕靖江県志　十六巻首一巻

(清)葉滋森 褚翔等纂修　光緒五年刻本　八冊　大3821—4

・〔光緒〕武陽志余　十二巻首一巻

(清)荘毓鋐等纂修　光緒十四年木活字本　十五冊　大3821—12

・〔正徳〕姑蘇志　六十巻

(明)呉寛 王鏊纂修　正徳元年刻嘉靖増修本　二十冊　大3821—13　(現「国史12.2—17」) 稀本　和大　S13

・〔乾隆〕呉県志　百十二巻首一巻

(清)姜順蛟 施謙等纂修　乾隆十年刻本　二十四冊　大3821—8

・〔道光〕平望志　十八巻首一巻

(清)翁広平纂修　光緒十三年重刻道光二十年刻本　六冊　大3821—5

・虎邱山志　十巻首一巻

(清)顧湄纂修　康熙呉門懐嵩堂刻本　二冊　大3821—26　名勝[22)]

・金山志　十巻続志二巻

(清)盧見曽纂修　乾隆二十七年雅雨堂刻本　六冊　大3821—20　名勝

・続金山志　二十巻

(清)曽燠纂　道光四年刻本　六冊　大3821—21　名勝

・宝華山志　十五巻首一巻

(清)劉名芳纂　光緒刻本　四冊　大3821—22　名勝

・北固山志　十二巻首一巻

(清)釈了璞纂　道光十六年刻本　四冊　大3821—27　名勝

・焦山志　二十六巻首一巻

(清)呉雲輯　同治十三年刻本　八冊　大3821—23　名勝

・焦山続志　八巻

(清)陳任暘輯　光緒三十一年刻本　二冊　大3821—24　名勝

・〔同治〕上海県志　三十三巻首一巻末一巻

(清)応宝時 兪樾等纂修　同治十一年上海文廟南園志局王承基等校正本　十六冊　大3821—3[23)]

・〔光緒〕南匯県志　二十二巻首一巻末一巻

(清)金福曽 張文虎等纂修　光緒五年刻本　十二冊　大3821—2

・〔光緒〕松江府続志　四十巻首一巻図一巻

(清)博潤等纂修　光緒十年刻本　二十四冊　大3821—17　和中　S13

白　大谷382.2　安徽省

・〔嘉慶〕蕭県志　十八巻首一巻

(清)潘鎔 沈学淵等纂修　嘉慶二十年刻本　九冊　大3821—14　和大　S13[24)]

・〔乾隆〕太平府志　四十四巻

(清)朱肇基 陸綸纂修　乾隆二十二年刻本　八冊　大3822—1　和大　S13

・〔嘉慶〕六安州志　三十二巻末一巻

(清)宋思楷纂修　嘉慶九年刻本　八冊　大3822—2　稀本　和大　S13

・九華山志　十巻首一巻

(清)謝維喈纂　光緒二十六年刻本　八冊　大3822—3　名勝

白　大谷382.3　江西省

・〔康熙〕江西通志　五十四巻

(清)于成龍纂修　康熙二十二年刻本　四十八冊　大3823—14 (現「国史12.2—192」)　稀本　和大　S13

・〔光緒〕江西通志　一百八十巻首五巻

(清)劉坤一 趙之謙等纂修　光緒七年刻本　一百二十冊　大3823—5

・〔乾隆〕南昌府志　七十六巻首一巻末一巻

(清)陳蘭森 謝啓昆纂修　乾隆五十四年刻本　四十冊　大3823—4　和中　S13

・〔乾隆〕南昌県志　三十二巻首一巻末一巻

(清)徐干等纂修　乾隆五十九年刻本　十二冊　大3823—20 (現「館史12.2—49」)　稀本　和中　S14

・〔同治〕萍郷県志　十巻首一巻

(清)錫栄 王明璠纂修　同治十一年刻本　八冊　大3823—12　和大　S13

・〔同治〕九江府志　五十四巻首一巻末一巻

(清)達春布 黄鳳楼等纂修　同治十三年刻本　二十八冊　大3823—7　和大　S13

・〔同治〕彭沢県志　十八巻首一巻

(清)趙宗耀 欧陽燾纂修　同治十二年刻本　十六冊　大3823—6　和中　S13

・〔同治〕饒州府志　三十二巻首一巻

(清)錫徳 石景芬纂修　同治十一年刻本　十六冊　大3823—3　和中　S13

・〔同治〕袁州府志　十巻首一巻

(清)駱敏 蕭玉銓等纂修　同治十三年刻本　二十冊　大3823—1　和大　S13

・〔同治〕安義県志　十六巻首一巻末一巻

(清)杜林 彭斗山等纂修　同治十年木活字本　八冊　大3823—10　和大　S13

・〔道光〕分宜県志　三十二巻首一巻

(清)高夢麟纂修　道光二十九年刻本　十二冊　大3823—17　和大　S14

・〔乾隆〕瀘溪県志　十二巻首一巻末一巻

(清)朱崧 周立愛纂修　乾隆十六年刻本　六冊　大3823—19　和大　S14[25)]

・〔光緒〕吉安府志　五十三巻首一巻

(清)定祥 劉繹等纂修　光緒二年刻本　四十冊　大3823—16　和大　S13

・〔同治〕廬陵県志　五十六巻首一巻　附補編一巻

(清)陳汝禎 匡汝譜等纂修　同治十二年刻本　三十二冊　大3823—13　和大　S13

・〔康熙〕新淦県志　十五巻

(清)董謙吉修 李煥斗纂 王毓徳続修　康熙五十四年増刻本　六冊　大3823—21（現「国史12.2—201」）稀本　和大　S14

・〔同治〕永豊県志　四十巻

(清)王建中 劉繹纂修　同治十三年刻本　十一冊（存巻第一至第二十八）　大3823—22　和大　S14

・〔同治〕龍泉県志　十八巻首一巻末一巻

(清)王肇渭 陳崇煇纂修　同治十二年刻本　十二冊　大3823—8　和中　S13

・〔同治〕南安府志　三十二巻首一巻

(清)黄鳴珂 石景芬纂修 徐福炘続纂　同治七年刻本　十六冊　大3823—15　和中　S13

・〔同治〕広昌県志　十巻首一巻

(清)曽毓璋纂修　同治六年刻本　十冊　大3823—9　和中　S13

・〔道光〕定南庁志　八巻

(清)賴勳 黄錫光纂修　道光五年刻本　八冊　大3823—2　和中　S13

・〔同治〕大庾県志　二十六巻首一巻

(清)陳蔭昌 石景芬纂修　同治十三年刻本　十五冊　大3823—18　和大　S14

・廬山志　十五巻

（清）毛徳琦重訂　同治十二年盛元補刻本　十六冊　大3823—23／大3823—26　名勝

・石鐘山志　十六巻首一巻

（清）李成謀 丁義方纂　光緒九年刻本　八冊　大3823—24　名勝

白　大谷382.4　湖南省

・〔光緒〕湖南通志　二百八十八巻首八巻末十九巻

（清）李翰璋 曽国荃等纂修　光緒十一年刻本　一百六十九冊　大3824—1

・〔乾隆〕長沙府志　五十巻首一巻

（清）呂肅高 張雄図等纂修　乾隆十二年刻本　三十二冊　大3824—67　和大　S13

・〔嘉慶〕湘潭県志　四十巻

（清）張雲璈 周系英纂修　嘉慶二十三年刻本　十八冊　大3824—58　和大　S13

・〔光緒〕湘潭県志　十二巻

（清）陳嘉榆 王闓運纂修　光緒十五年刻本　十冊　大3824—57　和大　S13

・〔光緒〕邵陽県志　十巻

（清）黄文琛纂修　光緒二年刻本　六冊　大3824—40　和大　S13

・邵陽県郷土志　四巻首一巻

（清）陳呉萃等纂修　光緒三十三年刻本　四冊　大3824—26　和中　S13

・〔乾隆〕岳州府志　三十巻首一巻

（清）黄凝道 謝仲坑纂修　乾隆十一年刻本　十冊　大3824—53　和大　S13

・〔嘉慶〕巴陵県志　三十巻首一巻

（清）陳玉垣 唐伊盛纂修　嘉慶九年刻本　十二冊　大3824—24　和大　S13

・〔光緒〕巴陵県志　六十三巻首一巻　附 洞庭君山岳陽楼詩文集十八巻

（清）姚詩徳 杜貴墀等纂修　光緒二十六年刻本　十六冊　大3824—27　和中　S13

・〔同治〕臨湘県志　十三巻首一巻

（清）盛慶黻 熊興傑等纂修　光緒十八年重刻同治十一年刻本　六冊　大3824—18　和中　S13

・〔同治〕平江県志　五十五巻首二巻末一巻

（清）張培仁 李元度等纂修　同治十三年刻本　十六冊　大3824—46　和大　S13

・〔光緒〕湘陰県図志　三十四巻首一巻末一巻

（清）郭嵩燾纂修　光緒六年刻本　十四冊　大3824—3　和中　S13

・〔同治〕瀏陽県志　二十四巻

（清）王汝惺 鄒焌傑等纂修　同治十二年刻本　十冊　大3824—12

・〔同治〕醴陵県志　十四巻首一巻末一巻

（清）徐淦 江光普纂修　同治九年刻本　六冊　大3824—61　和大　S13

・〔嘉慶〕続増攸県志　五十五巻

（清）趙勲 陳之驎等纂修　道光十九年潘礪襄増刻嘉慶二十二年刻本　十冊　大3824—66　稀本　和大　S13

・〔同治〕茶陵州志　二十四巻

（清）梁葆頤 譚鍾麟等纂修　同治十年刻本　八冊　大3824—14　和大　S13

・〔嘉慶〕茶陵州志　二十三巻首一巻

（清）趙国宣 彭康纂修 甘慶増 朱怡滋増纂　嘉慶十八年増補康熙三十四年刻本　八冊　大3824—14　稀本　和大　S13

・〔同治〕酃県志　二十巻首一巻

（清）唐栄邦 周作翰等纂修　同治十二年刻本　九冊　大3824—64

・〔同治〕湘郷県志　二十三巻首一巻末一巻

（清）斉徳五 黄楷盛等纂修　同治十三年刻本　二十四冊　大3824—55　和大　S13

・〔嘉慶〕彬州総志　四十三巻首一巻末一巻

（清）朱偓 陳昭謀纂修　嘉慶二十五年刻本　二十八冊　大3824—72　和大　S13

・〔同治〕安仁県志　十六巻首一巻末一巻

（清）張景垣 張鵬等纂修　同治八年刻本　十冊　大3824—76　和大　S14

・〔光緒〕永興県志　五十五巻首一巻

（清）呂鳳藻 李献君纂修　光緒九年刻本　十冊　大3824—5　和大　S13

・〔光緒〕興寧県志　十八巻首一巻末一巻

（清）郭樹馨 黄榜元等纂修　光緒元年刻本　六冊　大3824—10　和大　S13

・〔同治〕桂東県志　二十巻首一巻

（清）劉華邦 郭岐勳纂修　同治五年刻本　八冊　大3824—44　和大　S13

・〔同治〕桂陽県志　二十二巻首一巻

（清）銭紹文 朱炳元等纂修　同治六年刻本　六冊　大3824—81　和大　S14

・〔同治〕重修嘉禾県志　二十五巻首一巻

（清）高大成 李光甲纂修 陳国仲続修　同治二年刻本　七冊　大3824—2　稀本　和中　S13

・〔嘉慶〕直隷桂陽州志　四十三巻首一巻

（清）袁成烈 曹昌纂修　嘉慶二十三年刻本　十四冊　大3824—43　稀本　和大　S13

・〔道光〕耒陽県志　二十二巻首一巻

（清）常慶 鄭優等纂修　道光六年刻本　九冊　大3824—23　和中　S13

・〔光緒〕衡山県志　四十五巻首一巻

（清）李惟丙 文嶽英等纂修　光緒元年刻本　二十冊　大3824—12　和大　S13

・〔同治〕常寧県志　十六巻首一巻

（清）玉山 李孝経等纂修　同治九年刻本　四冊　大3824—19　和中　S13

・〔嘉慶〕祁陽県志　二十四巻首一巻

（清）万在衡 甘慶増纂修　嘉慶十七年刻本　十二冊　大3824—15　和大　S13

・〔乾隆〕清泉県志　三十六巻首一巻

（清）江恂 江昱纂修　乾隆二十八年刻本　十冊　大3824—33　和中　S13

・〔同治〕衡陽県志　十二巻

（清）羅慶鄉 彭玉麟纂修　同治十三年刻本　八冊　大3824—79　和大　S14

・〔嘉慶〕零陵県志　十六巻

（清）武占熊 劉方璿纂修　嘉慶十五年刻本　十二冊　大3824—65　稀本　和中　S13

・〔嘉慶〕新田県志　十巻

（清）張厚鄙 楽明紹等纂修　嘉慶十七年刻本　四冊　大3824—17　和大　S13

・〔嘉慶〕寧遠県志　十巻

（清）曽鈺纂修　嘉慶十六年刻本　六冊　大3824—62　和大　S13

・〔同治〕藍山県志　十六巻末一巻

（清）胡鶚薦 鍾範纂修　同治六年刻本　十冊　大3824—52　和中　S13

・〔光緒〕道州志　十二巻

（清）李鏡蓉 許清源等纂修　光緒四年刻本　八冊　大3824—68　和大　S13

・〔光緒〕東安県志　八巻

（清）黄心菊 席宝田等纂修　光緒元年刻本　四冊　大3824—75　和大　S14

・〔同治〕江華県志　十二巻首一巻

（清）劉華邦 唐為煌等纂修　同治九年刻本　六冊　大3824—51　和中　S13

・〔光緒〕新寧県志　二十六巻首一巻

（清）張葆連 劉坤一等纂修　光緒十九年刻本　十冊　大3824—74　和大　S14

・〔嘉慶〕武岡州志　三十巻首一巻

（清）許紹宗 鄧顕鶴纂修　嘉慶二十二年刻本　十二冊　大3824—69　和大　S13

・武岡州郷土志　一巻

（清）張徳昌纂修　光緒三十四年木活字本　二冊　大3824—38　和中　S13

・〔同治〕綏寧県志　四十巻首一巻

（清）方伝質 龍鳳翥纂修　同治六年刻本　八冊　大3824—70　和大　S13

・〔同治〕城歩県志　十巻

（清）盛鎰源 戴聯璧等纂修　同治六年刻本　十冊　大3824—78　和大　S14

・〔同治〕新化県志　三十五巻首一巻

（清）関培鈞 劉洪沢等纂修　同治十一年刻本　十八冊　大3824—49　和大　S13

・〔乾隆〕辰州府志　五十巻首一巻

（清）席紹葆 謝鳴謙等纂修　乾隆三十年刻本　十六冊　大3824—31　和大　S13

・〔同治〕沅州府志　四十巻首一巻

(清)張官五 呉嗣仲続修　同治十二年増刻乾隆五十五年刻本　二十冊　大3824—35　和中　S13

・〔同治〕黔陽県志　六十巻首一巻

(清)陳鴻作 易夔堯等纂修　同治十三年刻本　十二冊　大3824—8　和中　S13

・〔同治〕沅陵県志　五十巻首一巻

(清)守忠 許光曙等纂修　同治十二年刻本　十二冊　大3824—16　和大　S13

・〔光緒〕会同県志　十四巻首一巻

(清)孫炳煜 黄世昌等纂修　光緒二年刻本　六冊　大3824—50　和中　S13

・〔光緒〕靖州直隷州志　十二巻首一巻末一巻

(清)呉起鳳 唐際虞等纂修　光緒五年刻本　六冊　大3824—9　和大　S13

・靖州郷土志　四巻首一巻

(清)金蓉鏡纂　光緒三十四年刻本　二冊　大3824—20　和中　S13

・〔同治〕芷江県志　六十四巻首一巻（闕巻第五十三至第五十六）

(清)盛慶紱 盛一棵等纂修　同治九年刻本　十一冊　大3824—83　和大　S14

・〔同治〕新修麻陽県志　十四巻首一巻

(清)姜鍾琇 劉士先等纂修　同治十三年刻本　十冊　大3824—29　和中　S13

・〔道光〕晃州庁志　四十四巻首一巻末一巻

(清)兪克振 梅嶧纂修　道光五年刻本　四冊　大3824—45　和中　S13

・〔乾隆〕永順府志　十二巻首一巻

(清)張天如 顧奎光寺纂修　乾隆二十八年刻本　十二冊　大3824—59　和大　S13

・〔同治〕永順県志　八巻首一巻末一巻

(清)康賡 李龍章等纂修　同治十三年刻本　八冊　大3824—60　和中　S13

・〔同治〕桑植県志　八巻首一巻

(清)周来賀 陳錦等纂修　同治十一年刻本　四冊　大3824—36　和大　S13

・〔乾隆〕瀘谿県志　二十四巻

(清)顧奎光 李湧等纂修　乾隆二十年刻本　六冊　大3824—73　稀本　和大　S14

・〔道光〕鳳凰庁志　二十巻首一巻

(清)黄応培 孫均銓等纂修　道光四年刻本　十冊　大3824—30　和大　S13

・〔同治〕永綏直隷庁志　六巻

(清)周玉衡 楊瑞珍等纂修　同治七年綏陽書院刻本　五冊　大3824—80　和大　S14

・〔同治〕保靖志稿輯要　四巻

(清)羅絅畬 胡興仁纂修　同治八年多文堂木活字本　四冊　大3824—77　稀本　和大　S14

・〔同治〕保靖県志　十二巻首一巻

（清）林継欽 袁祖綬等纂修　同治十年刻本　八冊　大3824—42　和中　S13

・〔光緒〕龍山県志　十六巻首一巻補刻一巻

（清）符為霖 劉沛等纂修　光緒四年続修刻本　六冊　大3824—41　和中　S13

・〔嘉慶〕常徳府志　四十八巻首一巻

（清）応先烈 陳楷礼纂修　嘉慶十八年刻本　二十二冊　大3824—48　和大　S13

・〔同治〕武陵県志　四十八巻

（清）惲世臨 孫翹沢 陳啓邁等纂修　同治二年刻本　二十二冊　大3824—11　和中　S13

・〔道光〕安福県志　三十二巻首一巻末一巻

（清）何寅斗 潘永盛等纂修　道光三年刻本　六冊　大3824—4　稀本　和大　S13

・〔同治〕直隷澧州志　二十六巻首三巻末一巻

（清）何玉棻 魏式曽等纂修　同治十三年刻本　二十四冊　大3824—25　和中　S13

・〔乾隆〕安郷県志　八巻

（清）張綽 曽之亨等纂修　光緒六年盛賡補刻本　六冊　大3824—56　和大　S13

・〔康熙〕龍陽県志　四巻

（清）蔡蔭修 陳一揆等纂　康熙二十四年刻本　四冊　大3824—63（現「国史12.2—196」）
稀本　和大　S13

・〔光緒〕龍陽県志　三十二巻首一巻

（清）黄教鎔 陳保真等纂修　光緒元年刻本　十六冊　大3824—22　和大　S13

・〔光緒〕桃源県志　十七巻首一巻末一巻

（清）余良棟 劉鳳苞纂修　光緒十八年刻本　十六冊　大3824—7　和中　S13

・〔同治〕続修慈利県志　十四巻首一巻

（清）嵇有慶 魏湘等纂修　同治八年刻本　十四冊　大3824—13　和大　S13

・〔同治〕石門県志　十四巻首一巻

（清）林葆元 申正颺纂修　同治七年刻本　十二冊　大3824—54　和中　S13

・〔同治〕益陽県志　二十五巻首一巻

（清）姚念楊 趙裴哲等纂修　同治十三年刻本　十六冊　大3824—82　和大　S14

・〔嘉慶〕沅江県志　三十巻

（清）唐古特 駱孔儔等纂修　嘉慶二十二年増刻本　六冊　大3824—37　和大　S13

・〔嘉慶〕寧郷県志　十二巻首一巻

（清）王余英 袁名曜纂修　嘉慶二十一年刻本　二十一冊　大3824—6　稀本　和大　S13

・南嶽志　八巻

（清）高自位等纂修　嘉慶十八年開雲楼刻本　六冊　大3824—85／3824—87　名勝

・九疑山志　四巻

(清)呉縄祖 樊在廷纂修　嘉慶元年刻本　二冊　大3824—89　名勝

・湘山志　二巻

(清)張澹煙纂 李開重訂　咸豊三年刻本　二冊　大3835—7　名勝

・湖南図説　二巻

(清)彭清瑋 左学呂纂　光緒二十三年刻本　二冊　大3824—21　和大　S13　輿図類郡邑之属

・湖南全省輿地図表

(清)湖南官書局編　光緒末鉛印本　十六冊　大3824—32　和大　S13　輿図類郡邑之属

・湖南疆域駅伝総纂　十巻

(清)慳唫山館編　光緒十四年刻本　十冊　大3824—47　和中　S13　政書類軍政之属

白　大谷382.5　湖北省

・〔同治〕続輯漢陽県志　二十八巻

(清)黄式度 王柏心等纂修　同治七年刻本　二十冊　大3825—11　和大　S14

・〔同治〕黄陂県志　十六巻附図一張

(清)劉昌緒 徐瀛纂修　同治十年刻本　五冊(存巻第一・十一・十二・十五・十六)　大3825—14　和大　S14

・光緒応城志　十四巻首一巻

(清)羅緗 王承禧等纂修　光緒八年刻本　八冊　大3825—3　和中　S13

・〔光緒〕黄岡県志　二十四巻首一巻

(清)戴昌言 劉恭冕等纂修　光緒八年刻本　二十四冊　大3825—8　和大　S14

・〔光緒〕麻城県志　五十六巻首一巻末一巻

(清)鄭慶華 潘顧福纂修　光緒二年刻本　二十六冊　大3825—4　和大　S13

・〔光緒〕蘄州志　三十巻

(清)封蔚祁 陳廷揚纂修　光緒八年麟山書院刻本　十八冊　大3825—6　和中　S13

・〔同治〕咸寧県志　十五巻首一巻

(清)陳怡 雷以誠等纂修　同治五年刻本　八冊　大3825—13　和大　S14

・〔同治〕崇陽県志　十二巻

(清)高佐廷 傅燮鼎纂修　同治五年木活字本　十二冊　大3825—2　和大　S13

・〔光緒〕荊州府志　八十巻首一巻

(清)倪文蔚 顧嘉蘅纂修　光緒六年刻本　三十二冊　大3825—16

・〔光緒〕続修江陵県志　六十五巻首一巻

(清)蒯正昌 胡九皐等纂修　光緒三年賓興館刻本　二十四冊　大3825—10　和中　S14

・〔同治〕監利県志　十二巻首一巻

(清)陳国棟 王柏心等纂修　同治十一年刻本　十冊　大3825—9　和大　S14

・〔光緒〕続修帰州志　十巻首一巻

(清)沈雲駿 劉玉森等纂修　光緒八年刻本　六冊　大3825—12　和大　S14

・〔同治〕恩施県志　十二巻首一巻

(清)多寿 羅凌漢纂修　同治三年麟溪書院刻本　六冊　大3825—5　和中　S13

・〔同治〕竹谿県志　十六巻首一巻

(清)陶寿嵩 楊兆熊纂修　同治六年刻本　八冊　大3825—7　和大　S14

・湖北省襄陽府宜城県郷土志　四巻

(清)楊文勳 望炳麟纂修　光緒三十二年刻本　四冊　大3825—15　和大　S14

・大別山志　十巻首一巻

(清)胡鳳丹纂　同治十三年退補斎刻本　四冊　大3825—17　名勝

・黄鵠山志　十二巻首一巻

(清)胡鳳丹纂　同治十三年退補斎刻本　六冊　大3825—18　名勝

白　大谷382.6　四川省　西康省

・〔嘉慶〕金堂県志　九巻首一巻末一巻（闕巻第五第六）

(清)謝惟傑 陳一津等纂修　嘉慶十六年刻本　六冊　大3826—26　和大　S14

・〔同治〕続金堂県志　八巻首一巻末一巻

(清)王樹桐 米絵裳等纂修　同治六年刻本　二冊　大3826—26　和大　S14（金堂県志と同帙）

・〔道光〕重慶府志　九巻

(清)王夢庚 寇宗纂修　道光二十三年刻本　十二冊　大3826—19　和大　S13

・〔乾隆〕巴県志　十七巻首一巻

(清)王爾鑑 王世沿等纂修　乾隆二十六年刻本　十二冊　大3826—6　和中　S13

・〔乾隆〕潼川府志　十二巻首一巻

(清)張松孫 李芳谷等纂修　乾隆五十一年刻本　十冊　大3826—25　和大　S14

・〔同治〕直隷綿州志　五十五巻

(清)文棨 伍肇齢等纂修　同治十二年刻本　二十冊　大3826—23　和大　S13

・〔乾隆〕四川保寧府広元県志　十三巻首一巻

(清)張賡謨等纂修　乾隆二十二年刻本　四冊　大3826—2　和中　S13

・〔咸豊〕重修梓潼県志　六巻

(清)張香梅 楊曦等纂修　咸豊八年刻本　六冊　大3826—13　和中　S13

・〔光緒〕遂寧県志　六巻首一巻

(清)孫梅 李星根等纂修　光緒五年刻本　六冊　大3826—14　和中　S13

・〔光緒〕叙州府志　四十三巻首一巻末一巻

(清)王麟祥 邱普成等纂修　光緒二十二年刻本　二十八冊　大3826—20　和大　S13

・〔乾隆〕富順県志　五巻首一巻

（清）段玉裁 李芝等纂修　光緒八年重刻乾隆四十二年刻本　五冊　大3826—18　和大　S13

・〔光緒〕直隷瀘州志　十二巻

（清）田秀栗 華国清等纂修　光緒八年刻本　十二冊　大3826—10　和大　S13

・〔同治〕嘉定府志　四十八巻首一巻

（清）文良 陳堯采等纂修　同治三年刻本　十六冊　大3826—15　和中　S13

・〔嘉慶〕楽山県志　十六巻首一巻

（清）龔伝黻 涂崧等纂修　嘉慶十七年刻本　八冊　大3826—9　和中　S13

・〔道光〕仁寿県新志　八巻

（清）馬百齢 魏崧等纂修　道光十八年刻本　八冊　大3826—16　和大　S13

・〔嘉慶〕峨眉県志　十巻首一巻

（清）王燮 張希縉等纂修　嘉慶十八年刻本　四冊　大3826—17　和中　S13

・〔光緒〕銅梁県志　十六巻首一巻

（清）韓清桂 陳昌等纂修　光緒元年刻本　八冊　大3826—5　和大　S13

・〔同治〕重修涪州志　十六巻首一巻

（清）呂紹衣 王応元等纂修　同治九年刻本　八冊　大3826—24　和中　S14

・〔同治〕重修酆都県志　四巻首一巻

（清）田秀栗 徐昌緒等纂修　同治八年刻本　四冊　大3826—12　和大　S13

・〔同治〕増修万県志　三十六巻首一巻

（清）王玉鯨 范泰衡等纂修　同治五年刻本　八冊　大3826—22　和中　S13

・〔光緒〕巫山県志　三十二巻首一巻

（清）連山 李友梁等纂修　光緒十九年刻本　七冊　大3826—7　和中　S13

・〔咸豊〕雲陽県志　十二巻

（清）江錫麒 陳崑等纂修　咸豊四年刻本　十二冊　大3826—21　和大　S13

・〔道光〕忠州直隷州志　八巻首一巻

（清）呉友筐 熊履青等纂修　道光六年刻本　八冊　大3826—4　和中　S13

・〔同治〕営山県志　三十巻

（清）翁道均 熊毓藩纂修　同治九年刻本　八冊　大3826—8　和大　S13

・〔道光〕巴州志　十巻首一巻

（清）朱錫穀 陳一津等纂修　道光十三年刻本　四冊　大3826—3　和大　S13

・〔嘉慶〕裡（裏）塘志略　二巻

（清）陳登龍纂修　拠嘉慶十五年水曲山房板抄本　一函二冊　大3626—28[26]

・峨山図説　二巻

(清)譚鍾嶽纂　光緒十七年刻本　二冊　大3826—27　名勝

・四川名勝志　三十五巻首一巻

(清)曹学佺纂修　明末刻本　十二冊　大3826—11（現「国史12.3—234」）　名勝　稀本　和中　S13

白　大谷382.7　浙江省

・〔雍正〕浙江通志　二百八十巻首三巻

(清)李衛 傅王露等纂修　光緒二十五年浙江書局重印本　一百二十冊　大3827—33

・咸淳臨安志　一百巻　札記三巻

(宋)潜説友纂　札記(清)黄士珣纂　道光十年銭塘汪氏振綺堂仿宋刻本　二十四冊　大3827—18　和大　S13

・唐棲志　二十巻

(清)王同纂修　光緒十六年刻本　八冊　大3827—28　和大　S14

・〔乾隆〕遂安県志　十巻首一巻

(清)鄒錫疇 方引彦等纂修　光緒十六年唐済活字印本　八冊　大3827—16[27]

・〔光緒〕永嘉県志　三十八巻首一巻

(清)張宝琳 王棻等纂修　光緒八年温州維新書局古書流通処刻本　十六冊　大3827—8　和中　S13

・〔乾隆〕平陽県志　二十巻首一巻

(清)徐恕 孫謙等纂修　乾隆二十五年刻本　八冊　大3827—12　和中　S13

・〔嘉慶〕瑞安県志　十巻首一巻

(清)張徳標 黄徵義等纂修　嘉慶十三年刻本　八冊　大3827—7　和中　S13

・嘉泰呉興志　二十巻

(宋)談鑰纂　民国三年呉興劉氏刻『呉興叢書』本　十二冊　大3827—3　和中　S13

・〔同治〕湖州府志　九十六巻首一巻

(清)宗源瀚 周学濬 陸心源等纂修　同治十三年愛山書院刻本　四十冊　大3827—22　和中　S13

・〔乾隆〕平湖県志　十巻首一巻末一巻

(清)王恒 張誠等纂修　乾隆五十五年刻本　十冊　大3827—4　和中　S13

・〔光緒〕石門県志　十一巻首一巻

(清)余麗元 譚逢之等纂修　光緒五年刻本　十二冊　大3827—15　和中　S13

・〔康熙〕孝豊県志　十巻

(清)羅為賡 張暹等纂修　康熙十二年刻本　四冊　大3827—13　和大　S13

・梅里志　十八巻

(清)楊謙 李富孫補輯 余懋続補　光緒三年仁済堂続補刻本　六冊　大3827—25　和中

S14

・〔光緒〕海塩県志　二十二巻首一巻末一巻

(清)王彬 徐用儀纂修　光緒三年蔚文書院刻本　十六冊　大3827—24　和大　S14

・同上書　十五冊（闕巻第十六第十七）　大3827—31　和大　S14

・〔同治〕長興県志　三十二巻

(清)趙定邦 周学濬等纂修　光緒十八年増補重校刻本　十六冊　大3827—19　和大　S13

・〔道光〕象山県志　二十二巻首一巻

(清)童立成 馮登府等纂修　道光十四年刻本　八冊　大3827—9　和中　S13

・〔乾隆〕奉化県志　十四巻首一巻（闕巻第八至第十）

(清)曹膏 陳琦等纂修　乾隆三十八年刻本　五冊　大3827—30　和中　S14

・〔雍正〕慈谿県志　十六巻

(清)楊正筍 馮鴻模等纂修　乾隆三年増刻雍正九年刻本　八冊　大3827—2

・〔乾隆〕紹興府志　八十巻首一巻

(清)李亨特 平恕等纂修　乾隆五十七年刻本　四十五冊　大3827—20　和中　S13

・〔康熙〕新昌県志　十八巻

(清)劉作樑 呂曽柄纂修　康熙十年刻本　四冊　大3827—26　和大　S14

・光緒仙(僊)居志　二十四巻首一巻　附仙居集二十四巻

(清)王寿頤 王棻等纂修　光緒二十年木活字本　十冊　大3827—11　和大　S13

・〔光緒〕黄巌県志　四十巻首一巻（闕巻第一）

(清)陳宝善 陳鍾英等続修 王詠霓続纂　光緒三年刻本　十五冊　大3827—32　和大　S14

・〔光緒〕処州府志　三十巻首一巻末一巻

(清)潘紹詒 周栄椿等纂修　光緒三年刻本　二十八冊　大3827—6　和中　S13

・〔光緒〕宣平県志　二十巻首一巻

(清)皮樹棠 皮錫瑞纂修　光緒四年刻本　八冊　大3827—10　和中　S13

・〔光緒〕縉雲県志　十六巻首一巻末一巻

(清)何乃容 潘樹棠等纂修　光緒七年刻本　十冊　大3827—29　和中　S14

・〔同治〕雲和県志　十六巻

(清)伍承吉 王士鈖纂修 涂冠続修　咸豊六年修　同治三年続修刻本　六冊　大3827—14　和中　S13

・〔光緒〕龍泉県志　十二巻首一巻

(清)顧国詔纂修　光緒四年刻本　六冊　大3827—27　和大　S14

・〔光緒〕松陽県志　十二巻首一巻

(清)支恒椿纂修　光緒元年刻本　六冊　大3827—5　和中　S13

・〔康熙〕衢州府志　三十五巻首一巻

(清)楊廷望纂修　康熙五十年刻本　十二冊　大3827—23　和中　S14

・〔嘉慶〕西安県志　四十八巻首一巻

(清)姚宝煃 范崇楷纂修　嘉慶十六年刻本　十二冊　大3827—17　和中　S13

・〔道光〕永康県志　十二巻首一巻

(清)廖重機 応曙霞等纂修　道光十七年刻本　八冊　大3827—21　和中　S13

・〔光緒〕常山県志　六十八巻首一巻末一巻

(清)李瑞鍾 朱昌泰纂修　光緒十二年刻本　十二冊　大3827—1

・西湖志　四十八巻

(清)李衛 傅王露等纂修　雍正十三年補刻雍正九年刻本　三十二冊　大3827—34　名勝

・西湖志　四十八巻

(清)李衛 傅王露等纂修　光緒四年浙江書局重刻雍正十三年刻本　二十冊　大3827—34　名勝

・重修普陀山志　十九巻首一巻

(清)許琰纂修　乾隆四年刻本　三冊　大3827—38　名勝

・天台山全志　十八巻

(清)張聯元纂修　康熙五十六年刻本　四冊　大3827—36　名勝

・明州阿育王山志　十巻続志六巻

(明)郭子章纂修　万暦四十七年刻本　続志(清)釈畹荃　乾隆二十二年補刻本　六冊　大3827—40　名勝

・澉山志　八巻

(清)沈煜 高杲纂修　道光十一年活字印本　二冊　大3827—44　名勝

・重修南海普陀山志　十巻首一巻

(清)秦耀曽修　道光十二年刻本　四冊　大3827—39　名勝

・浙江名勝志　十一巻

(明)曹学佺撰　明末刻本　六冊　大3827—49 (現「国史12.3—231」)[28]　名勝

藍　大谷383　南部　苗族

・湖南苗防屯政考　十五巻首一巻

(清)但湘良編　光緒九年刻本　十六冊　大383—1　和大　S13　政書類軍政之属

白　大谷383.1　貴州省

・〔乾隆〕貴州通志　四十六巻首一巻

(清)郭爾泰等纂修　乾隆六年刻本　三十二冊　大3831—1　和大　S13

・〔咸豊〕安順府志　五十四巻首一巻

(清)常恩 鄒漢勳等纂修 文海重編　光緒十七年重刻咸豊元年刻本　十六冊　大3831—2

和中　S13

白　大谷383.2　雲南省

・〔道光〕雲南通志稿　二百十六巻首三巻

(清)阮元 王崧等纂修　道光十五年刻本　一百三冊　大3832—4

・〔光緒〕続雲南通志稿　一百九十四巻首六巻

(清)王文韶 唐炯等纂修　光緒二十七年四川岳池県刻本　一百冊　大3832—3　和大　S13

・〔嘉慶〕重刻滇繫　四十巻

(清)師範纂修　光緒十三年雲南通志局重刻嘉慶十三年刻本　四十冊　大3834—2　和中　S13

・〔道光〕昆明県志　十巻

(清)戴絅孫纂修　光緒二十七年刻本　六冊　大3832—1　和中　S13

白　大谷383.3　福建省

・〔道光〕重纂福建通志　二百七十八巻首七巻　附続采烈女伝一巻

(清)孫爾準 陳寿祺纂修　程祖洛　魏敬中続纂修　道光九年修　十五年続修　同治十年正誼書院刻本　一百八十冊　大3824—64　和中　S13[29]

・〔乾隆〕馬巷庁志　十八巻首一巻

(清)万友正纂修　光緒十九年黄家鼎校補刻本　十冊　大3833—5　和大　S13

・〔乾隆〕永福県志　十巻

(清)陳焱 俞荔等纂修　乾隆十四年刻本　四冊　大3833—7　和大　S14

・〔同治〕長楽県志　二十巻首一巻

(清)彭光藻 楊希閔等纂修　同治八年刻本　十冊　大3834—22　和大　S14[30]

・〔道光〕永定県志　三十二巻

(清)方履籛 巫宜福等纂修　道光十年刻本　十冊　大3833—6　稀本　和大　S14

・〔光緒〕長汀県志　三十三巻首一巻末一巻

(清)王曇撰 謝昌霖再続修 劉国光再続纂　光緒五年刻本　十四冊　大3833—3　和大　S13

・〔同治〕寧洋県志　十二巻首一巻

(清)董鍾驥 陳天枢等纂修　光緒元年刻本　四冊　大3833—1　和中　S13

・〔康熙〕寧化県志　七巻

(清)祝文郁 李世熊纂修　康熙二十三年祝文郁刻本　七冊　大3833—2　和中　S13

白　大谷383.4　広東省

・羊城古鈔　八巻首一巻

(清)仇池石纂修　嘉慶十一年大賚堂刻本　五冊　大3834—17　和中　S13

・〔康熙〕花県志　四巻

(清)王永名 黄士龍等纂修　同治五年重刻康熙二十六年刻本　四冊　大3834—6　和大　S13

・〔道光〕龍門県志　十六巻首一巻末一巻

(清)毓雯 張維屏等纂修　咸豊六年補刻本　四冊　大3811—4[31)]

・〔道光〕直隷南雄州志　三十四巻首一巻

(清)余保純等修 黄其勤 汪阜纂修 戴錫倫 宋揚光続纂修　道光四年心簡斎重刻本　十四冊　大3834—31

・〔同治〕楽昌県志　十二巻首一巻

(清)徐宝符 李穠纂修　同治十年重修刻本　六冊　大3834—12　和大　S13

・〔嘉慶〕翁源県新志　十二巻首一巻末一巻

(清)謝崇俊 顔爾枢等纂修　嘉慶二十五年刻本　六冊　大3834—5　和大　S13

・〔光緒〕清遠県志　十六巻首一巻

(清)李文煜 朱潤芳等纂修　光緒六年翰元楼刻本　八冊　大3834—2

・〔康熙〕恵州府志　二十巻首一巻

(清)呂応奎等修 黄挺華等纂　康熙二十七年刻本　九冊　大3834—10　和大　S13

・〔乾隆〕帰善県志　十八巻首一巻　附事記二巻

(清)章寿彭 陸飛纂修　乾隆四十八年刻本　八冊　大3834—27　和大　S14

・〔嘉慶〕龍川県志　四十巻（闕巻第二十三第四十）

(清)胡璿 勒殷山纂修　嘉慶二十三年刻本　六冊　大3834—32　和中　S14

・〔道光〕永安県三志　五巻首一巻末一巻

(清)宋如楠 賴朝侶纂修　道光二年刻本　四冊　大3834—28　和大　S14

・〔嘉慶〕東莞県志　四十六巻

(清)彭人傑 黄時沛等纂修　嘉慶三年刻本　八冊　大3834—3

・〔咸豊〕興寧県志　十二巻首一巻

(清)仲振履原本 張鶴齢増修 曽士梅増纂　咸豊六年増補嘉慶十六年刻本　七冊　大3834—34　和中　S13[32)]

・〔嘉慶〕澄海県志　二十六巻首一巻

(清)李書吉 蔡継紳等纂修　嘉慶二十年刻本　八冊　大3834—11　和大　S13

・〔雍正〕海陽県志　十二巻

(清)張士璉修 葉適 陳珏等纂　雍正八年修 雍正十二年刻本　十冊　大3834—26　和大　S14

・〔光緒〕饒平県志　二十五巻

(清)劉抃原本 恵登甲増修 黄徳容 翁荃増纂　光緒九年増刻本　八冊　大3834—19　和中　S13

・〔乾隆〕普寧県志　十巻首一巻

（清）蕭麟趾 梅奕紹纂修　乾隆十年刻本　八冊　大3834—16　和中　S13

・〔乾隆〕揭陽県志　八巻首一巻

（清）劉業勤 凌魚纂修　乾隆四十四年刻本　八冊　大3834—30　和中　S14

・〔同治〕南海県志　二十六巻首一巻

（清）鄭夢玉 梁紹献等纂修　同治十一年刻本　十二冊　大3834—25　和大　S14

・〔嘉慶〕三水県志　十六巻首一巻

（清）李友榕 鄧雲龍等纂修　嘉慶二十四年心簡斎刻本　八冊　大3834—20　和大　S14

・〔咸豊〕順徳県志　三十二巻

（清）郭汝誠 馮奉初纂修　咸豊三年刻本　十六冊　大3834—1

・〔道光〕恩平県志　十八巻首一巻末一巻

（清）楊学顔 楊秀抜等纂修　道光五年刻本　六冊　大3834—8　和大　S13

・〔光緒〕続修定安県志　十巻首一巻

（清）呉応廉 王映斗等纂修　光緒四年刻本　五冊　大3834—18　和中　S13

・〔光緒〕臨高県志　二十四巻

（清）聶緝慶 桂文熾等纂修　光緒十八年臨江書院刻本　十冊　大3834—14　和中　S13

・〔嘉慶〕雷州府志　二十巻首一巻

（清）雷学海 陳昌斉纂修　嘉慶十六年刻本　十冊　大3834—15　和中　S13[38)]

・〔道光〕陽春県志　十四巻首一巻

（清）陸向栄 劉彬華纂修　道光元年六書斎刻本　四冊　大3834—24　和大　S14

・〔道光〕陽江県志　八巻

（清）李澐等修 区啓科等纂　李応均増補　胡瑑続纂　道光二年続修刻本　五冊　大3834—9　和中　S13

・〔道光〕広寧県志　十七巻

（清）黄思藻 欧陽振時纂修　道光四年刻本　六冊　大3834—23　和大　S14

・〔道光〕東安県志　四巻

（清）汪兆柯纂修　道光五年刻本　四冊　大3834—29　稀本　和大　S14

・〔雍正〕羅定直隷州志　六巻首一巻

（清）王植纂修　雍正九年刻本　六冊　大3834—21　和大　S14

・〔道光〕西寧県志　十二巻首一巻末一巻

（清）諸豫宗 周中孚纂修　道光十年刻本　六冊　大3834—4　稀本　和大　S13

・〔乾隆〕徳慶州志　十八巻

（清）宋錦 李麟洲纂修　乾隆十八年刻本　六冊　大3837—7（現「館史12.2—8」）　稀本　和大　S13

・〔道光〕封川県志　十巻

（清）温恭 呉石華纂修　道光十五年刻本　四冊　大3834—13　稀本　和大　S13

白　大谷383.5　広西省（現広西壮族自治区）

・〔雍正〕広西通志　一百二十八巻首一巻

（清）金鉷 銭元昌等纂修　雍正十一年刻本　四十八冊　大3835—6　和大　S13

・〔乾隆〕南寧府志　五十六巻

（清）蘇士俊纂修　乾隆七年刻本　十六冊　大3835—2（現「国史12.2—208」）　稀本　和大　S13[34]

・〔嘉慶〕臨桂県志　三十二巻

（清）蔡呈韶 胡虔等纂修　光緒六年補刻嘉慶七年刻本　十六冊　大3835—2　和大　S13

・〔乾隆〕興安県志　十巻首一巻　附続志一巻

（清）黄海修 蔣若淵纂　乾隆五年刻本　八冊　大3835—5（現「館史12.2—25」）　稀本　和中　S13[35]

・〔嘉慶〕全州志　十二巻首一巻末一巻

（清）温之誠 曹文深纂修　嘉慶四年刻本　十冊　大3835—4　和中　S13

・〔同治〕蒼梧県志　十八巻首一巻

（清）瞷光煥 李百齢原修 羅勛等原纂 黄玉柱続修 王棟続纂　同治十三年続修刻本　十二冊　大3835—1　和大　S13

藍　大谷384　新疆

・西域聞見録（即 新疆紀略）　八巻（存四巻）

（清）七十一（椿園）撰　乾隆四十二年復四山房刻袖珍本　五冊　大384—1　和中　S14

・西域総志　四巻[36]

（清）七十一（椿園）撰　周宅仁輯　嘉慶二十三年強恕堂刻本　四冊　大384—2

封面「異域瑣談」と題す。

・西域水道記　五巻

（清）徐松撰　光緒二十九年上海文瑞楼石印本　一冊　大384—3　和小

・西域聞見録　八巻

（清）七十一（椿園）撰　（日）畑道雲句読　寛政十三年刻本　一冊　大谷384—4　和小

藍　大谷385　西蔵

・西蔵図考　八巻首一巻

（清）黄沛翹纂　光緒十七年刻本　三冊　大385—1　和大　S14

・西蔵賦　一巻

（清）和寧撰　光緒八年至九年元尚居刻本　一冊　大385—2

紅　大谷39　外国地誌

藍　大谷391　亜州

・漢西域図考　七巻

(清)李光廷撰　同治九年刻本　四冊　大391—1　和大　S14

・東西洋考　十二巻

(明)張燮撰　王起宗校　抄本　十二冊　大391—2

以上が大連図書館所蔵「大谷文庫」本地誌の概要である。以下，今回の調査から判断できる諸点を二三挙げておく。

まず，中国国内の地方志地誌の収蔵状況から見ると，東北三省の公共図書館に限れば，大連図書館にのみ所蔵されている地方志は少なくない。この点はとくに強調しておいて良いと思う。ただ，本「大谷文庫」本地誌の収蔵範囲は，かなり限定的であって，中国全域に及ぶ偏りの無い蒐集収蔵であるとは遺憾ながら断言することはできない。つまり意図的に特定地域や網羅的な地方志地誌蒐集が心掛けられていた姿勢が，あまり窺えないのである。江蘇・浙江等のいわゆる江南地域の地方志が少ないのも予想外のことであった。稀少本が相当数含まれている事は知られるが，特定の地区地域の地方志地誌，あるいは古版本をとくに購求しようと努めていた風も見受けられない。むしろ収蔵の偏りに奇異な想いを懐かざるを得ない。とりわけ湖南省地誌が多い。全体で八十余種に及び，他省他地域を圧している。その原因がどこにあるのかは分明ではないが，それと比較して甘粛・新疆地区の地方志地誌は，予想外に少ない。二十世紀初頭に展開された西域中央アジア研究と結び付けるに足る材料は，この「大谷文庫」本地方志地誌の中には，ほとんど見当たらない。

お　わ　り　に

善本古籍の蒐集保存は，古今東西を問わず，古籍収蔵機関の最大の関心事である。大連図書館においても，『大連図書館古籍善本書目』「前言」に見えるように，館蔵善本の散逸事故がかつて発生した。近年，古籍の拍売（オークション）が中国各地で実施され，対象古籍の多くが法外な値段で取引きされる傾向が顕著である。古籍の保存そのものにも大きな関心が寄せられるようにもなった。浙江寧波の范氏「天一閣」蔵書の保存流失をめぐる連続テレビドラマの放映は，そうした潮流の中でかなり反響を呼んだ[87]。

また，近年，古籍文献のデジタル（数字・数碼）化が著しく進展し，本稿にも示したように大連図書館でも古籍文献デジタル化計画が進められている。とりわけ中国国内において最大級の成果を挙げている北京の愛如生数字化技術研究センターでは，「中国基本古籍庫」を始めとして幾多の古籍文献デジタル化の製品企画が進捗している。その中には「中国方志庫」も含まれ，すでに中国地方志の大半が収録されている。同センターを主宰する劉俊文氏の説明では，

今後も収録文献の増補が考慮されているとのことである[38]。本稿作成時には同庫の資料データを駆使することが叶わなかったが，今後，こうした大型の古籍文献デジタル化プロジェクトが資料捜索の様相を大きく変えていく事はまず間違いがない趨勢である。中国のみならず，我国においても，古籍文献とくに善本古籍の調査保存，及びデジタル化の動きが今後益々活発になることを一研究者として望んで已まない。

さて，大連図書館の図書収蔵は，本稿でも見たとおり，大きな特色内容を備えている。龍谷大学大宮図書館収蔵図書と淵源を同じくする書籍文献の繋がりと収蔵の現状について，本稿にはまだ調査不足な点を多く残しているものの，ひとつの基礎資料を示すことができたのでないかと思う。同館所蔵の地理総志や地方志には，その内容自体に大きな探究素材が包摂されており，今後も全容解明のための調査と研究を続け，より一層深化させる必要性を強く感じている。

最後に，文献調査に際して惜しみない協力を示して下さった大連図書館の張本義館長を始め，同館の辛欣副館長・陳艶軍古籍部主任等の館員各位に改めて謝意を表したい。

註

1）大連図書館の正式名称は，大連市図書館であるが，通常，大連図書館と呼称表記されることが多く，本稿でもこの名称を用いる。

2）王若著・木田知生訳「大連図書館所蔵「大谷文庫」本の小説の特色」『東洋史苑』第50・51合併号所収，木田知生著「中国大連図書館蔵「大谷文庫」について」『龍谷大学佛教文化研究所所報』第25号所収。「大谷文庫」とは浄土真宗本願寺派（西本願寺）第二十二代門主大谷光瑞氏寄贈に係る大連図書館所蔵本約五千冊の書籍の総称である。なお同文庫本には西本願寺歴代宗主の蒐集に係る「写字台文庫」の蔵書印を有するものもある。言い換えれば「大谷文庫」本の全てが「写字台文庫」本という訳ではない。

3）中国国内では，地方志（誌）の用語は，志と誌の両字が混用されることが間々あり，また地誌や方志と略されることもある。府州県各地の地方文献については，地方志あるいは方志と表記するのが一般的である。地誌と総称する場合は，これらに「地理学」文献と『水経注』等や各種水利書等の「専類地志」を加える分類法もある。『北京図書館普通古籍総目・第四巻・地誌門』北京図書館普通古籍組編（北京図書館出版社，2003年12月刊）参照。本稿では，当該の文献所蔵機関の使用法や書名目録に基づき，表記を適宜改めることとする。

4）龍谷大学大宮図書館では改修記念特別展開催に際し，展観図録『所蔵稀書と図書館歴史資料』（龍谷大学学術情報センター編集，2006年5月刊）を編集出版した。大連図書館善本書籍五種の書籍解題は，龍谷大学大宮図書館所蔵の「写字台文庫」本の概略説明，及び貴重書の書籍解題ともども同書中に掲載されている。その解題の内容は後文を参照。なお，展観に際し，張本義館長等は同館の最新の業務報告書『大連図書館 二〇〇五—二〇〇六概要』（大連図書館編）等をもたらされた。

5）大連図書館の歴史概況理解のための参考資料若干を挙げておく。大連図書館編『大連図書館 二〇〇一—二〇〇二年要覧』，同館編『大連図書館 二〇〇三—二〇〇四概要』，同館編『大連図書館古籍善本書目』（1986年5月編），王子平著「日本侵華戦争与中国図書館」同館編（張本義主編）『白雲論壇』第一巻所収，韓俊英著「従満鉄図書館看日本対中国的文化侵略」同書所収。なお『大連図書館 二〇〇五—二〇〇六概要』等には，「大事編年」が附載されている。また，本稿では「満洲」は一律「満州」と表記することとする。

6）同輿地図の図版は，曹婉如等編『中国古代地図集（明代）』（文物出版社，1995年10月刊）等に収載されている。なお輿地図や地理総志に関連する諸事項については別稿で論じる予定である。

7）雍正六年六月二十一日，総官内務府事務和碩荘親王允禄等が奏上した題本。当該案件の概略と史的意義に関しては，馮其庸・李希凡主編『紅楼夢大辞典』（文化芸術出版社，1990年１月刊）865頁等参照。なお，大連図書館では1990年10月の新館落成に際して同題本の複製本を作製している。

8）華宝斎書社（線装本二函十二冊）と西泠印社出版社（精装一冊本）による二種の影印出版。『文選纂注評林』は明の張鳳翼撰。依拠した版本は明万暦刻本。出版に際しての書名は『昭明文選』とされた。

9）その後，2006年に遼海出版社からも影印出版されている。精装２冊。

10）まず「国善」等について，簡潔に説明しておく。

大連図書館における「国善」とは，大連図書館編『大連図書館古籍善本書目』（1986年５月編）「前言」に拠れば，全国規模で行われた「全国古籍善本総目」調査にともなって選別された善本の一種をいう。大連図書館内部の選別調査が終了した1986年当時，館蔵25万冊の古籍中から，1726種の善本が選び出された。これらを更に「全国古籍善本総目」調査の要求と標準に適う「善甲」部847種と，次善の古籍として「善乙」部879種に分別した。つまり前者の「善甲」が全国標準で評価しても善本に当たるので「国善」と表記され，また「善乙」が大連図書館内での善本「館善」とされたわけである。この「善甲」古籍の中で，とくに世に知られる古籍は上述した「明清小説」群中に数多く含まれている。次に大連図書館における図書整理記号の一覧表を以下に掲げる。

大―大谷文庫
史―歴史
M―満蒙文庫
保K―保存本　歴史
国史―国善（善甲）歴史
館史―館善（善乙）歴史
内K―内部発行　歴史

本『（康熙）弋陽県志』は江西省上饒市弋陽県の地方志。巻一の輿国誌以下，各巻に疆域志・建置志・官師志・農政志・賦役志・選挙志・人物志・雑誌・芸文志上下を記載する。『中国地方志聯合目録』（中国科学院北京天文台主編，中華書局，1985年１月刊）によれば，本書は同地の方志としては最古のものであり，中国国内唯一の刊本である。そのため，2002年12月に華宝斎書社が影印出版している。加えて本書の大きな特色は，「大谷光瑞蔵書」の方印が封面に無造作に捺されていることである。本書が大谷光瑞氏の個人蔵書であったことは明らかである。この蔵書印は，他に大連図書館所蔵の「大谷文庫」本明清小説にも数多く見受けられるが，その実数等，詳細はなおも不明である。

11）編纂刊行年代・版本価値等に関し，さほど貴重でもない本書を敢えて展観に供した理由は，本書が「大谷文庫」本地誌の一例であることに存している。

12）本書の第一冊序に楕円形「写字台之蔵書」印，第二冊首頁に長方形「写字台之蔵書」印があり，この方印は第三冊以降は末頁に捺されている。また毎冊首頁の下欄外には「大谷光瑞氏寄贈」印がある。紛れも無く「写字台文庫」本である。本書は全十二冊からなるが，その内，第一冊から第十一冊までが大連図書館に所蔵されており，最後の一冊である第十二冊目だけが龍谷大学大宮図書館に「写字台文庫」本として所蔵されている。その冊には第一葉に楕円形「写字台之蔵書」印，末頁に長方形「写字台之蔵書」印が有るものの，「大谷光瑞蔵書」印は，どこにも見られない。「大谷光瑞蔵書」印は，大連図書館所蔵本にのみ捺されたものと判断される。各巻の内容を次に掲げる。

総録	勝紀	名言	類考
巻之一	西	苑	北京諸山泉附
巻之二	金	陵	南京諸山泉附
巻之三	琅琊山		江北諸山泉附

巻之四　　斉雲山　江南諸山泉附
巻之五　　東嶽泰山　山東諸山泉附
巻之六　　中嶽嵩山　河南諸山泉附
巻之七　　西嶽華山　陝西諸山泉附
巻之八　　北嶽恒山　山西諸山泉附
巻之九　　南嶽衡山　湖広諸山泉附
巻之十上　雁蕩山　両浙諸山泉附
巻之十下　雪竇山　浙江諸山泉附
巻之十一上　匡廬山　江西諸山泉附
巻之十一下　武功山　江西諸山泉附
巻之十二　武夷山　福建諸山泉附
巻之十三　羅浮山　広東諸山泉附
巻之十四　隠　山　広西諸山泉附　以上，大連図書館所蔵（計十一冊）
巻之十五　峩眉山　四川諸山泉附
巻之十六　点蒼山　雲南諸山泉附
巻之十七　天然山　貴州諸山泉附　以上，龍谷大学大宮図書館所蔵（一冊）

13）「大谷文庫」本地誌名の大半は，南満州鉄道株式会社大連図書館編『満鉄大連図書館増加図書分類目録 昭和13年度』（昭和十六年四月）及び同館編『満鉄大連図書館増加図書分類目録 昭和14年度』（昭和十七年八月）で確認できる。同目録によって，「大谷文庫」本地誌の多くが昭和十三年同十四年に大連図書館に入庫したことが分かるが，その年次以外に入庫した地誌もかなりある。両書に書名が見える地方志には「S13」（昭和13年度目録に記載）「S14」（昭和14年度目録に記載）と記した。なお両書に見える諸本の地誌書名の誤認誤記（『廬陵県志』を『瀘陵県志』，『邵陽県郷土志』を『邵県郷土志』と誤記する等）や配列の錯誤は，極力改めた。

14）本書は現湖南省株洲市炎陵県にある炎帝陵墓に関する文献で，ここに配されるのは明らかな間違い。炎陵志は，通常，道光八年刊の八巻本が用いられるが，これは十巻本である。株洲市修復炎帝陵籌備委員会・酃県修復炎帝陵工程指揮部編『炎帝和炎帝陵』（光明日報出版社，1988年11月刊）参照。

なお，「和大」の表記は，当時のカードに用いられていた用語で，無論，日本の図書館用語である。和装本の大本（他に特大本・中本・小本の称がある）の意味で用いられたが，線装本の意である。本表には確認できた分だけを書き留めておく。当時の図書カード採録記載基準等が必ずしも統一されておらず，そのため，本表の書誌情報記述にも統一を欠く箇所が残った。

15）大連図書館所蔵古籍書目を確認する工具書のひとつに『東北地区古籍線装書聯合目録』全四冊（遼寧省・吉林省・黒龍江省図書館編，遼海出版社，2003年12月刊）がある。本書『浙江全省輿図並水陸道理記』は，その第一冊（1153頁右）に書籍名の記載はある。ただ，大連図書館所蔵との記入は無い。同様の遺漏が他の地誌本においても若干見受けられる。

16）この「河北省」以降の分類配列は，各省の地方志を当時の行政区画配列順位（河北省・山東省・山西省・河南省・陝西省・甘粛省・青海省・江蘇省・安徽省・江西省・湖南省・湖北省・四川省・西康省・浙江省・南部 苗族・貴川省・雲南省・福建省・広東省・広西省・新疆・西蔵）に従って配列。但し，各省地域以下の地方志記載の順は，現今の中国で行われている通常の行政区画配列順位（後文参照）に従ったため，「大谷文庫」番号の順位が前後転倒することになった。当時の順位のままに記載しようとも考えたが，現今の行政区画はすでに当時のそれと異なり，加えて行政区画認定の誤りも認められたため，敢えて現今の行政区画配列順位に従った。現実的な利用を考慮した結果である。

省ごとの「大谷文庫地誌」書籍名は，基本的に『大連図書館蔵地方志目録』の記載等で確認でき，同目録では図書分類番号の前に「大」字を加えて区別している。記載に当たっては『中国地方志聯合目録』等も参照したが，大連図書館所蔵の『（康熙）延安府志』『孝義庁志』等，『聯合目録』に記載

漏れがかなり有ることが判明した。

なお，カードに見える「和大」「和小」の表記は，先にも記したように，当時の日本側でのカード上の記載であり，当然ながら『大連図書館蔵地方志目録』には記述されていない。

通常の行政区画配列順位は，『中国地方志聯合目録』では1977年度版の中華人民共和国公安部編『中華人民共和国行政区劃簡冊』（地図出版社，1977年3月刊）の配列順位に依拠している。『大連図書館蔵地方志目録』は，1982年度末までの資料に基づく1983年度版の中華人民共和国民政部編『中華人民共和国行政区劃簡冊』（地図出版社，1983年3月刊）に準拠している。その配列を以下に示す。なお，省級行政単位である直轄市・省・自治区内に含まれる地級・県級行政単位の配列順位も，当然，上記材料の配列順位に準拠している。

1北京市　2天津市　3河北省　4山西省　5内蒙古自治区　6遼寧省　7吉林省　8黒龍江省　9上海市　10江蘇省　11浙江省　12安徽省　13福建省　14江西省　15山東省　16河南省　17湖北省　18湖南省　19広東省　20広西壮族自治区　21四川省　22貴州省　23雲南省　24西蔵自治区　25陝西省　26甘粛省　27青海省　28寧夏回族自治区　29新疆維吾爾自治区　30台湾省

17）河北省の上記地方志の他にも「大谷文庫」本であることが確認できる図書があるので，以下に挙げておく。現在の天津市に属する地方志である。

・〔同治〕続天津県志　二十巻首一巻

（清）呉恵元 兪樾等纂修　同治九年続修刻本　八冊　大谷3811—6　和大　S13

18）上記以外に山西省の地方志として，下記の一志を加える。

・〔康熙〕介休県志　八巻

（清）王埴 王之舟纂修　康熙三十五年刻本　一函四冊　国史12.2—198（「史 12.2 国善」）本書はもと奉天図書館旧蔵に係るもので，「史 12.2 198 国善」「奉天図書館図書之印」（5.10.22）「旅大市図書館所蔵善本」「大谷光瑞蔵書」印がある。「大谷光瑞蔵書」印は巻八の十二葉天頭にも見える。

19）本『〔嘉慶〕開州志』は，その図書分類番号から分かるように，従来は誤って河北省に分類されていた。

20）本『〔嘉慶〕洛川県志』は，陝西省延安地区の地方志である。同地区の稀本地方志として，「大谷文庫」本ではないが，以下の善本を挙げておく。

・〔康熙〕延安府志　十巻図一巻

（清）陳天植修 劉爾欅纂　康熙十八年修　康熙四十三年呉存礼撰序増刻本

「史 12.2 199 国善」「南満州鉄道株式会社図書印」「旅大市図書館蔵書印」がある。『中国地方志聯合目録』には，大連図書館所蔵の記載はない。同目録の記載に遺漏が多いことの一証にもなろう。科学院図書館や故宮博物院図書館本は不全本であり，大連図書館所蔵本の貴重さが知られる。

21）この分類には以下の一点が置かれているが，地方志の属には加え難い。

・入蜀記（陳眉公訂正一）四巻

（明）沈麟禎等校　日本写本　一函四冊　大382—1　和大

22）本書以下の江蘇省関連七志は，本来は「地理類・名勝之属」もしくは「地理類・山水志（山川志）之属」等に分類すべき図書である。以下，本稿では「名勝」の字句を加えておく。

23）本『〔同治〕上海県志』以下の三地方志は，現在の行政区画に従えば，上海市に分類すべきものである。

24）本『〔嘉慶〕蕭県志』は，その図書分類番号から知られるように，もとは江蘇省の地方志とされていたが，1955年4月以降，蕭県が安徽省所属に改められたため，本志も安徽省条下に移した。張志強等編著『中国地名演変手冊』（中国大百科全書出版社，2001年5月刊）参照。

25）本『〔乾隆〕瀘溪県志』は，『大連図書館蔵地方志目録』（146頁）では，誤って湖南省湘西土家族苗族自治州の部分に置かれていた。おそらく同地区の『瀘谿県志』と誤認したものと思われるが，「大谷

文庫」本の図書分類番号からも分かるように，江西省撫州地区の県志であり，加えて伝本も比較的に稀である。なお，湖南省『瀘谿県志』は「大谷文庫」本の地方志として別に分類されている（「大3824—73」）。

26）本『裡塘志略』抄本について。『大連図書館蔵地方志目録』（170頁）には1978年の中央民族学院謄写本を記載するが，本書は未記載。なお，裡塘は現在の四川省甘孜蔵族自治州理塘県。

27）本『遂安県志』に関して，『大連図書館蔵地方誌目録』（70頁）では「乾隆三十二年刻本」とするが，本書は同年の序を冠した光緒十六年唐済活字印本である。また誰の手に成るか判然としないが小説類等の書目名を浄書した頁が有る。「大谷光瑞蔵書」「大谷光瑞氏寄贈」「南満州鉄道株式会社図書印」「南満州鉄道株式会社大連図書館 昭.13.5.23」「旅大市図書館蔵書印」の五印が認められる。

28）本『浙江名勝志』には「大谷光瑞蔵書」「大谷光瑞氏寄贈」「南満州鉄道株式会社図書印」「南満州鉄道株式会社大連図書館 昭.15.10.25」「旅大市図書館蔵書印」「旅大市図書館所蔵善本」の六印が認められる。残念ながら破損が著しい。

29）本『〔道光〕重纂福建通志』は，旧『大連図書館増加分類図書目録 昭和13年度』（127頁）では誤って湖南省（旧図書分類番号は「大谷382.4—64」）の地方志として記載されていた。今では福建省の地方志として訂正され，図書分類番号も「(大)3833—4」となっている（大連図書館編『大連図書館蔵地方志目録』87頁）。

30）本『〔同治〕長楽県志』は，図書分類番号から知られるように，もとは広東省（梅県地区）の地方志と誤認されていた。『大連図書館蔵地方志目録』においても，同番号に基づいて広東省梅県地区に配列されているが，内容に従って福建省（莆田地区）の地方志として記載し直した。

31）本『〔道光〕龍門県志』は，従来は河南省の地方志として配列されていた。

32）本『〔咸豊〕興寧県志』は，旧『大連図書館増加分類図書目録 昭和13年度』（126頁）では誤って湖南省（旧図書分類番号は「大谷3824—39」」）に列せられていた。現『大連図書館蔵地方志目録』（152頁）では，改めて広東省梅県地区の地方志として配列され，新図書分類番号が当てられている。

33）本『〔嘉慶〕雷州府志』は，『大連図書館蔵地方志目録』（155頁）では「『石城県志』六巻首一巻」と誤記されていたものだが，改めた。

34）本『〔乾隆〕南寧府志』は，中国国内所蔵機関中，唯一の完本である。道光二十七年の増刻本が存在するが，乾隆刻本としては孤本である。台湾所蔵本は残本。

35）旧「大3835—5」本。「大谷光瑞蔵書」「大谷光瑞氏寄贈」「南満州鉄道株式会社図書印」「南満州鉄道株式会社大連図書館 昭.13.6.9」「族大市図書館蔵書印」「旅大市図書館所蔵善本」の六印が認められる。

36）『西域聞見録』と『西域総志』の両書は，書名を異にするが同本。但し，節録内容を異にし，異本も多い。馬大正・呉錫祺・葉于敏整理『呉豊培辺事題跋集』（新疆人民出版社，1998年２月刊）209頁参照。

37）黄磊作・演出・主演『天一生水』全四十集

38）2006年10月，劉俊文氏本人による紹介と説明に基づく。